


Vostro 15 7510

サービス マニュアル

メモ、注意、警告

 **メモ:** 「メモ」は、製品をより上手に使用するための重要な情報であることを示します。

 **注意:** 「注意」は、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 「警告」は、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピュータ内部の作業	6
安全にお使いいただくために.....	6
コンピューター内部の作業.....	6
サービスモードの起動.....	8
サービスモードの終了.....	8
PC 内部の作業を終えた後に.....	9
章 2: コンポーネントの取り外しと取り付け	10
推奨ツール.....	10
ネジのリスト.....	10
システムの主要なコンポーネント.....	12
ベースカバー.....	13
ベース カバーの取り外し.....	13
ベース カバーの取り付け.....	14
バッテリー.....	16
充電式リチウムイオン バッテリーの注意事項.....	16
バッテリーの取り外し.....	16
バッテリーの取り付け.....	17
バッテリーケーブル.....	18
バッテリー ケーブルの取り外し.....	18
バッテリー ケーブルの取り付け.....	19
メモリ.....	20
メモリー モジュールの取り外し.....	20
メモリー モジュールの取り付け.....	21
ソリッドステート ドライブ : M.2 スロット 1.....	23
2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 1 から取り外す.....	23
2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 1 に取り付け.....	24
2280 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 1 から取り外す.....	26
M.2 スロット 1 での 2280 ソリッドステート ドライブの取り付け.....	27
ソリッドステート ドライブ : M.2 スロット 2.....	28
2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 から取り外す.....	28
2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 に取り付け.....	29
ワイヤレスカード.....	30
ワイヤレス カードの取り外し.....	30
ワイヤレス カードの取り付け.....	31
GPU ファン.....	32
GPU ファンの取り外し.....	32
GPU ファンの取り付け.....	33
システム ファン.....	34
システム ファンの取り外し.....	34
システム ファンの取り付け.....	34
ヒートシンク.....	35
ヒートシンクの取り外し.....	35
ヒートシンクの取り付け.....	36

I/O ボード.....	37
I/O ボードの取り外し.....	37
I/O ボードの取り付け.....	38
スピーカー.....	39
スピーカーの取り外し.....	39
スピーカーの取り付け.....	40
タッチパッド.....	41
タッチパッドの取り外し.....	41
タッチパッドの取り付け.....	42
ディスプレイアセンブリ.....	44
ディスプレイ アセンブリーの取り外し.....	44
ディスプレイ アセンブリーの取り付け.....	46
指紋認証リーダー内蔵電源ボタン ボード.....	48
電源ボタン ボードの取り外し.....	48
電源ボタン ボードの取り付け.....	49
電源ボタン (オプションの指紋認証リーダー内蔵)	49
オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し.....	49
オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け.....	50
指紋認証リーダー内蔵電源ボタン.....	51
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し.....	51
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け.....	52
電源アダプタポート.....	53
電源アダプター ポートの取り外し.....	53
電源アダプター ポートの取り付け.....	54
システム ボード.....	55
システム ボードの取り外し.....	55
システム ボードの取り付け.....	58
パームレストとキーボード アセンブリー.....	60
パームレストとキーボード アセンブリーの取り外し.....	60
パームレストとキーボード アセンブリーの取り付け.....	61
章 3: ドライバおよびダウンロード.....	63
ドライバーのダウンロード.....	63
章 4: セットアップユーティリティ.....	64
BIOS の概要.....	64
BIOS セットアッププログラムの起動.....	64
ナビゲーションキー.....	64
ブート シーケンス.....	65
システム セットアップのオプション.....	65
高度な設定またはエンジニアリング設定.....	74
SupportAssist システムの解決策.....	74
Windows での BIOS のアップデート.....	74
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	75
USB フラッシュドライブを使用した BIOS のアップデート.....	75
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	75
システム セットアップパスワードの割り当て.....	76
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	76

章 5: トラブルシューティング	77
膨張した充電式リチウムイオン バッテリーの取り扱い.....	77
Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断.....	78
SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェックの実行.....	78
システム診断ライト.....	78
オペレーティング システムのリカバリ.....	80
リアルタイム クロック (RTC リセット)	80
Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート.....	80
Windows での BIOS のアップデート.....	80
バックアップ メディアとリカバリ オプション.....	81
Wi-Fi パワー サイクル.....	81
待機電力の放出.....	81
章 6: ヘルプ	82
Dell へのお問い合わせ.....	82

コンピュータ内部の作業

トピック：

- 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に記載のない限り、この文書に記載される各手順は、お使いのコンピュータに付属の「安全にお使いいただくための注意事項」をすでにお読みいただいていることを前提とします。

警告: PC 内部の作業を行う前に、お使いの PC に付属している「安全にお使いいただくために」をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、法令遵守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

警告: PC につないでいる電源をすべて外してから、PC カバーまたはパネルを開きます。PC 内部の作業を終えた後は、PC を電源コンセントに接続する前に、カバー、パネル、およびネジをすべて取り付けてください。

注意: PC の損傷を避けるため、平らで乾いた清潔な場所で作業を行うようにしてください。

注意: コンポーネントおよびカードは、損傷を避けるために端を持つようにしてください。ピンおよび接合部には触れないでください。

注意: 許可されている、あるいは Dell テクニカルサポートチームによって指示を受けた内容のトラブルシューティングと修理のみを行うようにしてください。Dell が許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属の「安全にお使いいただくために」、または www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

注意: PC 内部の部品に触れる前に、PC 背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れ、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を除去してください。

注意: ケーブルを外すときは、コネクタまたはコネクタのプルタブを持つようにし、ケーブル自体を引っ張らないでください。ケーブルには、ケーブルを外す前に外しておく必要のあるロックタブや蝶ネジが付いたコネクタを持つものがあります。ケーブルを外すときは、コネクタピンを曲げないように、まっすぐ引き抜いてください。ケーブルを接続するときは、ポートとコネクタの向きが合っていることを確認してください。

注意: メディアカードリーダーに取り付けられたカードは、押し取り出します。

注意: ノートパソコンの充電式リチウムイオンバッテリーを取り扱う際は、十分に注意してください。膨張したバッテリーは絶対に使用せず、適切に交換および廃棄してください。

メモ: お使いの PC の色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータ内部の作業

PC 内部の作業を始める前に

このタスクについて

メモ: 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いの PC と異なる場合があります。

手順

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. PC をシャットダウンします。[Start] > [Power] > [Shut down] の順にクリックします。

メモ: 他のオペレーティング システムを使用している場合は、お使いのオペレーティング システムのシャットダウン方法に関するマニュアルを参照してください。

3. PC および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
4. キーボード、マウス、モニターなど取り付けられているすべてのネットワークデバイスや周辺機器を PC から外します。

注意: ネットワーク ケーブルを外すには、まずケーブルのプラグを PC から外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

5. すべてのメディアカードと光ディスクを PC から取り外します（取り付けしている場合）。

ESD（静電気放出）保護

電気パーツを取り扱う際、ESD は重要な懸念事項です。特に、拡張カード、プロセッサ、メモリ DIMM、およびシステムボードなどの静電気に敏感なパーツを取り扱う際に重要です。ほんのわずかな静電気でも、断続的に問題が発生したり、製品寿命が短くなったりするなど、目に見えない損傷が回路に発生することがあります。省電力および高密度設計の向上に向けて業界が前進する中、ESD からの保護はますます大きな懸念事項となっています。

最近のデル製品で使用されている半導体の密度が高くなっているため、静電気による損傷の可能性は、以前のデル製品よりも高くなっています。このため、以前承認されていたパーツ取り扱い方法の一部は使用できなくなりました。

ESD による障害には、「致命的」および「断続的」の 2 つの障害のタイプがあります。

- **致命的** – 致命的な障害は、ESD 関連障害の約 20 % を占めます。障害によりデバイスの機能が完全に直ちに停止します。致命的な障害の一例としては、静電気ショックを受けたメモリ DIMM が直ちに「No POST/No Video（POST なし/ビデオなし）」症状を起こし、メモリが存在または機能しないことを示すビープコードが鳴るケースが挙げられます。
- **断続的** – 断続的なエラーは、ESD 関連障害の約 80 % を占めます。この高い割合は、障害が発生しても、大半のケースにおいてすぐにはそれを認識することができないことを意味しています。DIMM が静電気ショックを受けたものの、トレースが弱まっただけで、外から見て分かる障害関連の症状はすぐには発生しません。弱まったトレースが機能停止するまでには数週間または数ヶ月かかることがあり、それまでの間に、メモリ整合性の劣化、断続的メモリエラーなどが発生する可能性があります。

認識とトラブルシューティングが困難なのは、「断続的」（「潜在的」または「障害を負いながら機能」とも呼ばれる）障害です。

ESD による破損を防ぐには、次の手順を実行します。

- 適切に接地された、有線の ESD リストバンドを使用します。ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は、現在許可されていません。これらのリストバンドでは、適切な保護がなされません。パーツの取り扱い前にシャーシに触れる方法では、感度が増したパーツを ESD から十分に保護することができません。
- 静電気の影響を受けやすいすべてのコンポーネントは、静電気のない場所で扱います。可能であれば、静電気防止フロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送用段ボールから取り出す場合は、コンポーネントを取り付ける準備ができるまで、静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出してください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合は、あらかじめ静電気防止コンテナまたは静電気防止パッケージに格納します。

ESD フィールド サービス キット

監視対象外フィールドサービス キットは、最も一般的に使用されているサービス キットです。各フィールドサービス キットには、静電気防止用マット、リストバンド、およびボンディングワイヤの 3 つの主要コンポーネントがあります。

ESD フィールドサービス キットのコンポーネント

ESD フィールドサービス キットのコンポーネントは次のとおりです

- **静電気防止用マット** - 静電気防止用マットは放電性のため、サービス手順の実行中に部品をその上に置いておくことができます。静電気防止用マットを使用するときは、リストバンドをびったりと付けて、マットと作業するシステムのベア メタルにボンディングワイヤを接続する必要があります。適切に配備できたら、サービスパーツを ESD 保護袋から取り出して直接マット上に置くことができます。ESD に敏感なアイテムは、手の中、ESD マット上、システム内、保護袋内では安全です。
- **リストバンドとボンディングワイヤ** - リストバンドとボンディングワイヤは、ESD マットが必要なければハードウェアのベア メタルと手首を直接つなぐことができます。または、静電気防止マットに接続して一時的にマット上にハードウェアを置き保護することもできます。リストバンドとボンディングワイヤで、肌、ESD マット、およびハードウェアを物理的に接続することをボンディングと言います。リストバンド、マット、およびボンディングワイヤのフィールド サービス キットのみ使用してください。ワイヤレスのリストバンドは使用しないでください。リストバンドの内部のワイヤは通常の摩耗や傷みから損傷を起こしやすいことを忘れないでください。偶発的な ESD によるハードウェア損傷を避けるため、定期的にリストバンドテスターでチェックする必要があります。リストバンドとボンディングワイヤは、少なくとも週に 1 回はテストすることをお勧めします。
- **ESD リストバンドテスター** - ESD バンド内のワイヤは時間の経過に伴い損傷しやすくなります。監視対象外キットを使用するときは、少なくとも週に 1 回のペースで、各サービスコールの前に定期的にリストをテストすることがベストプラクティスです。リストバンドテスターはこのテストの実施に最適です。リストバンドテスターをお持ちでない場合、地域のオフィスにないかご確認ください。テストを実行するには、テスターにリストバンドのボンディン

グワイヤを接続し、手首にリストを締めて、ボタンを押してテストを行います。緑色の LED はテストが成功した場合に点灯します。テストが失敗した場合は、赤い LED が点灯し、アラーム音が鳴ります。

- **インシュレータエレメント** - プラスチック製のヒートシンクカバーなどの ESD に敏感なデバイスは内蔵部品から離しておく必要があります。内蔵部品は、インシュレータであり、多くの場合は高荷電です。
- **作業環境** - ESD フィールドサービス キットを配備する前にカスタムのサイトで状況を評価します。例えば、サーバー環境のキットの導入は、デスクトップまたはノートブック環境とは異なります。サーバーは通常、データセンター内のラックに設置されます。一方、デスクトップとノートブックはオフィスの机や作業スペースに設置されることが一般的です。ESD キットを広げられる十分なスペースと、修理するシステムなどを置くことのできる余分なスペースがあり、すっきりと整理された平らな広い作業場所を常に探しておくことです。また、その作業スペースは ESD イベントを引き起こす可能性のあるインシュレータがない場所にします。作業エリアでは、ハードウェアコンポーネントを扱う前に発泡スチロールやその他のプラスチックなどのインシュレータを静電気に敏感な部品から少なくとも 12 インチ (30 cm) 以上離しておく必要があります。
- **ESD パッケージ** - すべての ESD に敏感なデバイスは静電気対策を施されたパッケージで出荷および納品されることになっています。金属、静電シールドバッグが推奨されます。なお、損傷した部品は、新しい部品が納品されたときと同じ ESD 保護袋とパッケージを使用して返却される必要があります。ESD 保護袋は折り重ねてテープで封をし、新しい部品が納品されたときの箱と同じエアクッション梱包材をすべて入れてください。ESD に敏感なデバイスは、ESD 保護の作業場でのみパッケージから取り出すようにします。ESD 保護袋では、中身のみ保護されるため、袋の表面に部品を置かないでください。部品は常に、手の中、ESD マット上、システム内、静電気防止袋内に配置します。
- **ESD に敏感なコンポーネントの輸送** - 交換パーツまたは Dell に返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れる必要があります。

ESD 保護の概要

Dell 製品のサービスにあたる際は常に従来の有線 ESD 静電気防止用リストバンドと保護用の静電気防止マットを使用するようお勧めします。また、サービスにあたる際は静電気に敏感な部品とあらゆるインシュレーター部品を離しておき、静電気に敏感なコンポーネントを輸送するときは静電気防止袋を使用することが重要です。

敏感なコンポーネントの輸送

交換パーツまたは Dell に返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

サービスモードの起動

サービスモードを使用すると、バッテリー ケーブルをシステム ボードから外さなくても、すぐに PC の電源を切って修復を行うことができます。

サービスモードを起動するには、次のように操作します。

1. PC をシャット ダウンし、AC アダプターを外します。
2. キーボードの キーを長押しした状態で、電源ボタンを 3 秒間、または Dell のロゴが画面に表示されるまで押します。
3. 任意のキーを押して続行してください。
 - ① **メモ:** 電源アダプターが外されていない場合は、AC アダプターの取り外しを求めるメッセージが画面に表示されます。AC アダプターを取り外し、任意のキーを押してサービスモードの手順を続行します。
 - ② **メモ:** PC の所有者タグが製造者によって事前に設定されていない場合、サービスモードの手順が自動的に飛ばされます。
4. 画面に準備完了のメッセージが表示されたら、任意のキーを押して続行します。PC は短いピープ音を 3 回発し、すぐにシャット ダウンします。PC がシャット ダウンすると、バッテリー ケーブルをシステム ボードから外すことなく交換手順を実行できます。

サービスモードの終了


サービスモードを使用すると、バッテリー ケーブルをシステム ボードから外さなくても、すぐに PC の電源を切って修復を行うことができます。

サービスモードを終了するには、次のように操作します。

1. AC アダプターを PC の電源アダプター ポートに接続します。
2. 電源ボタンを押してコンピュータの電源をオンにします。PC は自動的に通常機能モードに戻ります。

PC 内部の作業を終えた後に

このタスクについて

 **注意:** PC 内部にネジが残っていたり、緩んでいたりとすると、PC に深刻な損傷を与える恐れがあります。

手順

1. すべてのネジを取り付けて、PC 内部に外れたネジが残っていないことを確認します。
2. PC での作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
3. PC での作業を始める前に、取り外したすべてのメディアカード、ディスク、その他のパーツを取り付けます。
4. PC、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. PC の電源を入れます。

コンポーネントの取り外しと取り付け

① **メモ:** 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いの PC と異なる場合があります。

トピック:

- 推奨ツール
- ネジのリスト
- システムの主要なコンポーネント
- ベースカバー
- バッテリー
- バッテリーケーブル
- メモリ
- ソリッドステートドライブ: M.2 スロット 1
- ソリッドステートドライブ: M.2 スロット 2
- ワイヤレスカード
- GPU ファン
- システム ファン
- ヒートシンク
- I/O ボード
- スピーカー
- タッチパッド
- ディスプレイアセンブリ
- 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン ボード
- 電源ボタン (オプションの指紋認証リーダー内蔵)
- 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン
- 電源アダプタポート
- システム ボード
- パームレストとキーボード アセンブリー

推奨ツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- プラスドライバ No.0
- プラスドライバ No.1
- プラスチック スクライブ
















ネジのリスト

① **メモ:** コンポーネントからネジを取り外す際は、ネジの種類、ネジの数量をメモし、その後ネジの保管箱に入れておくことをお勧めします。これは、コンポーネントを交換する際に正しいネジの数量と正しいネジの種類を保管しておくようにするためです。

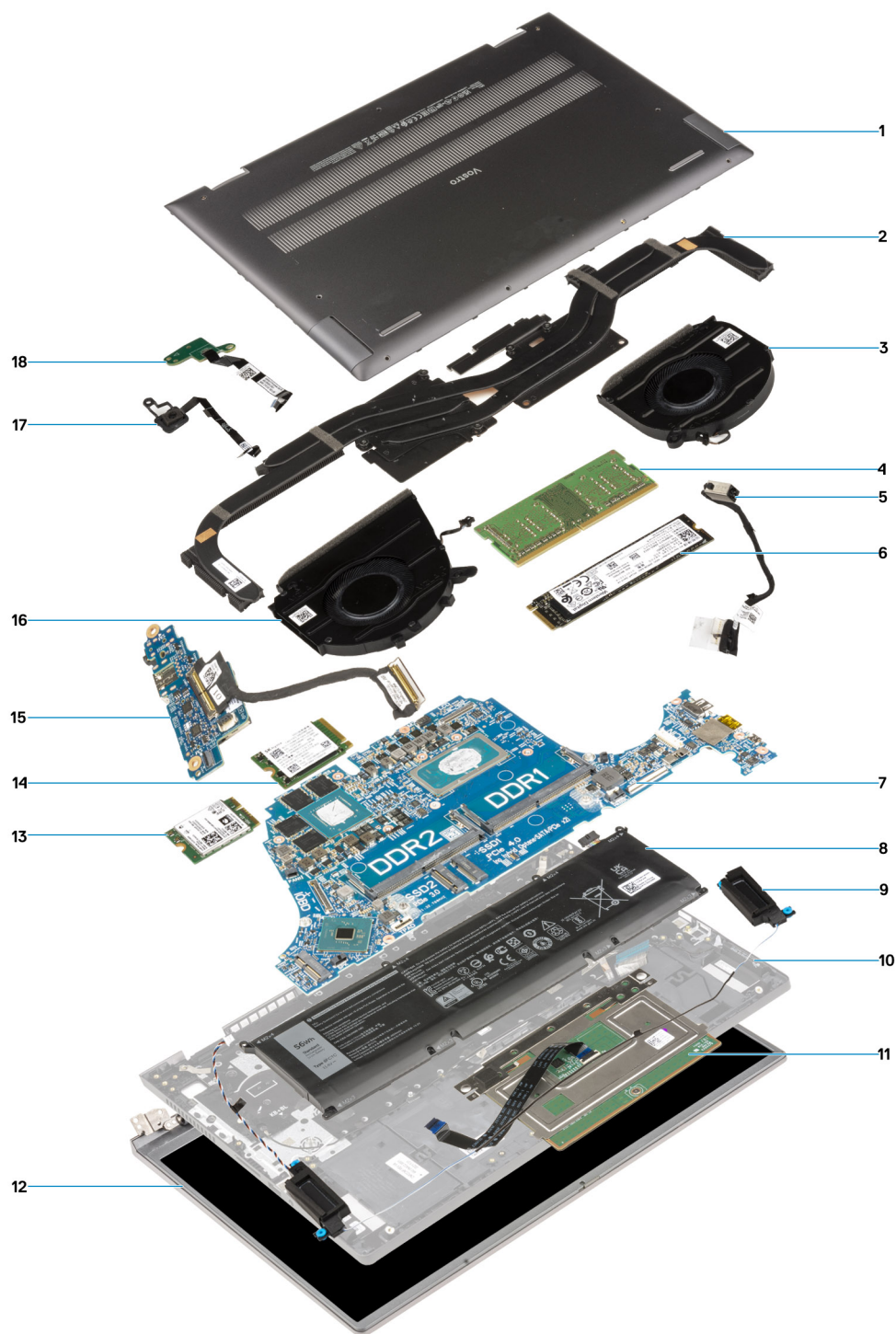
① **メモ:** 一部のコンピューターには、磁性面があります。コンポーネントを交換する際、ネジが磁性面に取り付けられたままになっていないことを確認してください。

① **メモ:** ネジの色は、発注時の構成によって異なります。

表 1. ネジのリスト

コンポーネント	ネジの種類	数	ネジの画像
ベースカバー	<ul style="list-style-type: none"> 拘束ネジ：M2x7.5 M2x4 	<ul style="list-style-type: none"> 2 7 	
バッテリー	M2x3	5	
ワイヤレスカード	M2x4	1	
ソリッドステートドライブ：スロット1	M2x4	1	
ソリッドステートドライブ：スロット2	M2x4	1	
GPU ファン	M2x4	2	
システムファン	M2x4	2	
ヒートシンク	拘束ネジ	7	
システムボード	<ul style="list-style-type: none"> M2x2 M2x4 	<ul style="list-style-type: none"> 2 1 	
USB Type-C ブラケット	M2x5	2	
電源ボタン	M2x4	1	
指紋認証リーダー内蔵電源ボタン	M2x4	1	
I/O ボード	M2x4	2	
タッチパッド	<ul style="list-style-type: none"> M2x1.8 M2x3 	<ul style="list-style-type: none"> 5 2 	
電源アダプターポート	M2.5x5	2	
ディスプレイアセンブリー	M2.5x5	4	

システムの主要なコンポーネント



1. ベースカバー
2. ヒートシンク
3. システムファン
4. メモリーモジュール
5. 電源アダプターポート
6. M.2 2280 SSDカード
7. システムボード

8. バッテリー
9. スピーカー
10. パームレストとキーボードアセンブリ
11. タッチパッド
12. ディスプレイ アセンブリ
13. WLAN
14. M.2 2230 SSD カード
15. I/O ボード
16. GPU ファン
17. 電源ボタン
18. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン

メモ: Dell では、システム購入時の初期構成のコンポーネントとパーツ番号のリストを提供しています。これらのパーツは、お客様が購入した保証対象に応じて提供されます。購入オプションについては、Dell のセールス担当者にお問い合わせください。

ベースカバー

ベース カバーの取り外し

前提条件

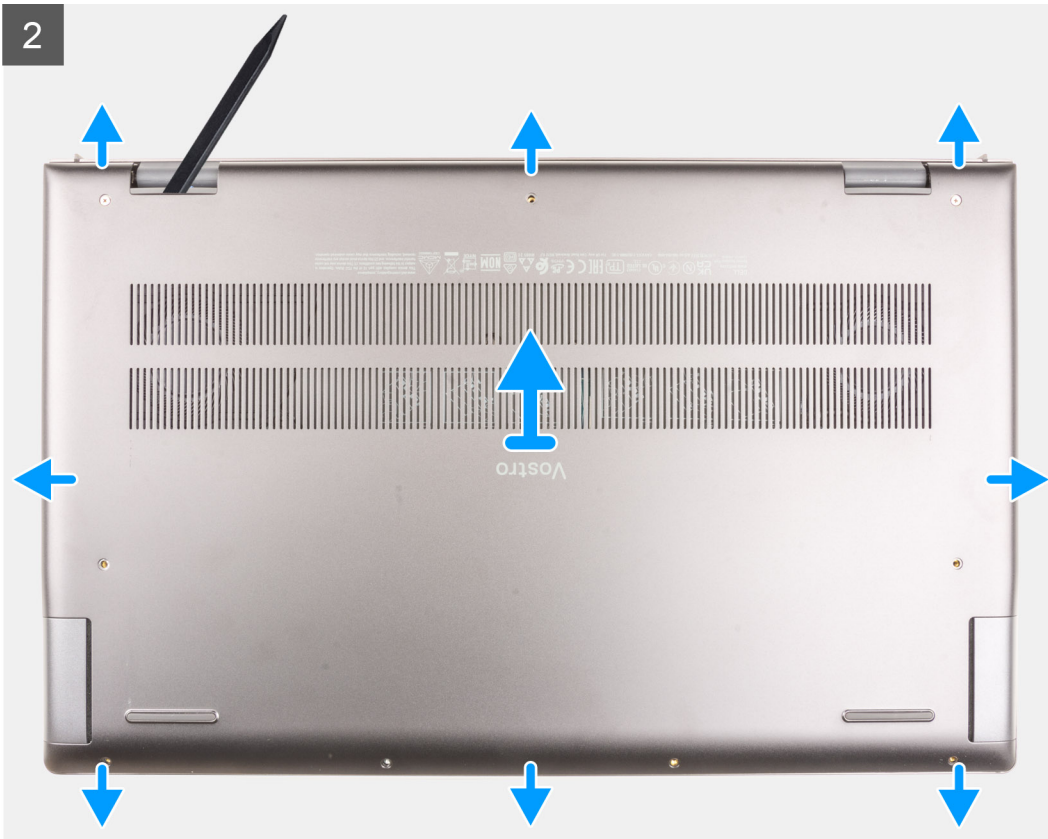
1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。

このタスクについて

次のイメージは、ベース カバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2



手順

1. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している7本のネジ（M2x4）を外します。
2. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本の拘束ネジ（M2x7.5）を緩めます。
3. プラスチック製スクライブを使用して、ベースカバー上部のエッジにあるU字型のくぼみからベースカバーを持ち上げ、側面も持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーからベースカバーを外します。
4. ベースカバーを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

ベースカバーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

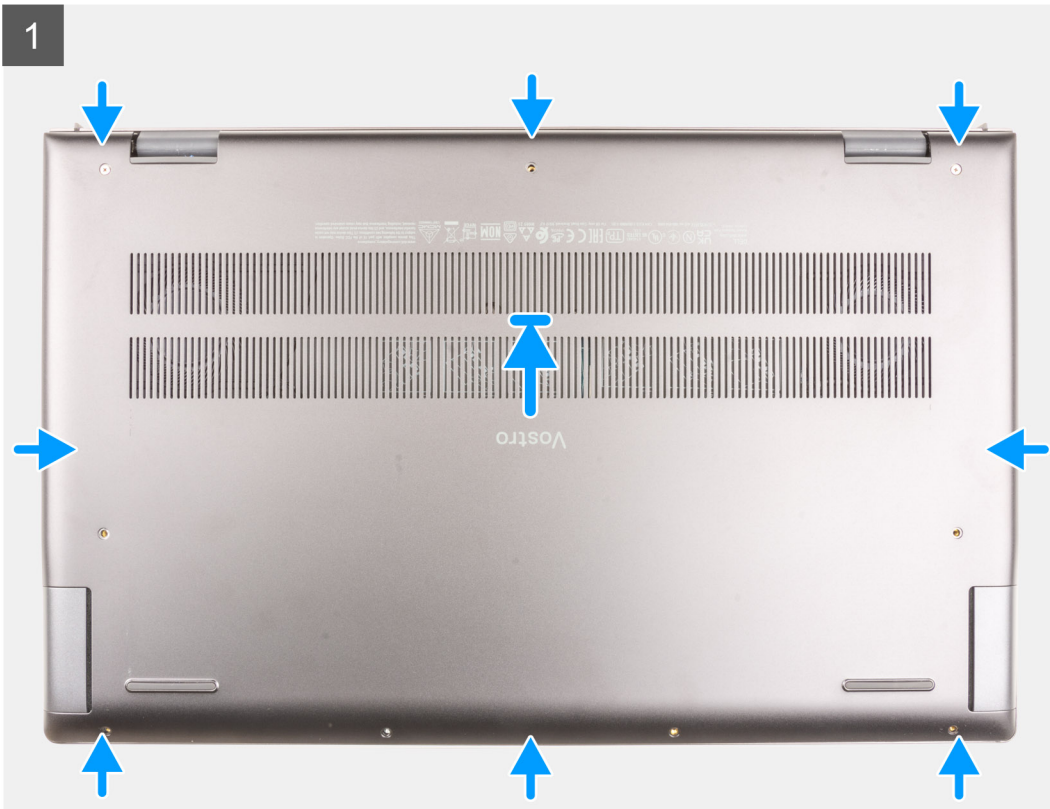
次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



7x
M2x4



2x
M2x7.5



手順

1. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーの上部にセットします。
2. ベースカバーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせて、ベースカバーを所定の位置にはめ込みます。
3. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する2本の拘束ネジ (M2x7.5) を締めます。
4. ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する7本のネジ (M2x4) を取り付けます。

次の手順

1. サービスモードを終了します。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

バッテリー

充電式リチウムイオン バッテリーの注意事項

△ 注意:

- 充電式リチウムイオン バッテリーを取り扱う際は、十分に注意してください。
- バッテリーを取り外す前に、バッテリーを完全に放電させます。システムから AC 電源アダプターを取り外し、バッテリー電源のみでコンピューターを動作させます。電源ボタンを押したときにコンピューターの電源が入らなくなると、バッテリーは完全に放電されます。
- バッテリーを破壊したり、落としたり、損傷させたり、バッテリーに異物を侵入させたりしないでください。
- バッテリーを高温にさらしたり、バッテリーパックまたはセルを分解したりしないでください。
- バッテリーの表面に圧力をかけないでください。
- バッテリーを曲げないでください。
- 種類にかかわらず、ツールを使用してバッテリーをこじ開けないでください。
- バッテリーやその他のシステムコンポーネントの偶発的な破裂や損傷を防ぐため、この製品のサービス作業中に、ネジを紛失したり置き忘れたりしないようにしてください。
- 充電式リチウムイオン バッテリーが膨張することでコンピューターから取り出せない場合、穴を開けたり、曲げたり、押しつぶしたりすると危険なため、無理に取り出そうとしないでください。そのような場合は、Dell テクニカル サポートにお問い合わせください。 www.dell.com/contactdell を参照してください。
- 必ず、 www.dell.com または Dell 認定パートナーおよび再販業者から正規のバッテリーを購入してください。
- 膨張したバッテリーは絶対に使用せず、適切に交換および廃棄してください。膨張した充電式リチウムイオン バッテリーの取り扱いと交換のガイドラインについては、「膨張した充電式リチウムイオン バッテリーの取り扱い」を参照してください。

バッテリーの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

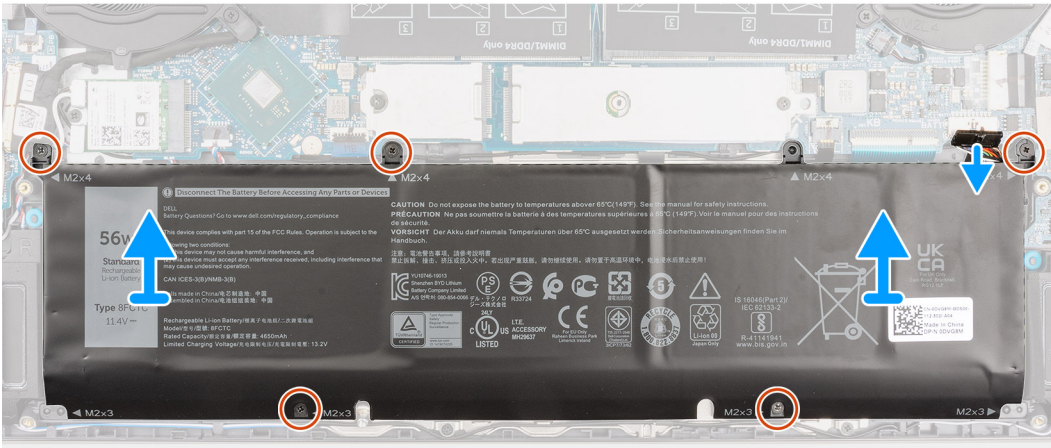
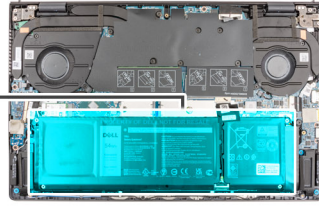
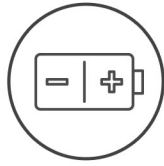
このタスクについて

 **メモ:** Vostro 15 7510 は、6 セル (86 Wh) のバッテリーもサポートしています。

次の画像は 3 セル (56 Wh) バッテリーの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



5x
M2x3



手順

1. バッテリーケーブルをシステム ボードから外します。
2. 3 セル バッテリーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 5 本のネジ (M2x3) を外します。
3. 3 セル バッテリーをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから外します。

バッテリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

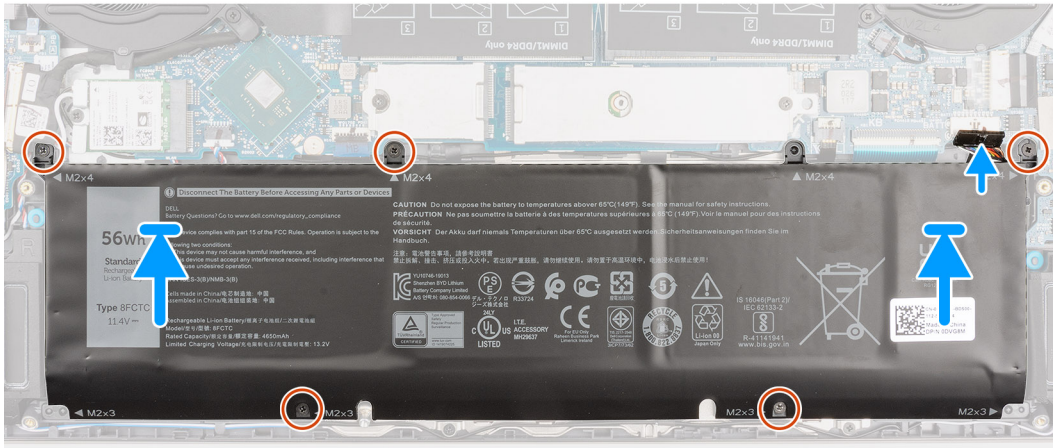
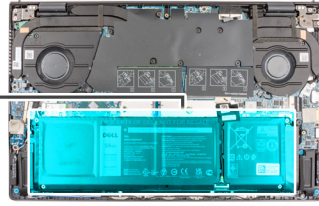
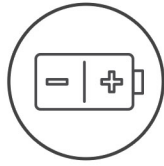
このタスクについて

ⓘ | メモ: Vostro 15 7510 は、6 セル (86 Wh) のバッテリーもサポートしています。

次の画像は 3 セル (56 Wh) バッテリーの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



5x
M2x3



手順

1. 位置合わせポストを使用して、3セル バッテリーをパームレストとキーボード アセンブリーにセットします。
2. 3セル バッテリーのネジ穴を、パームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
3. 3セル バッテリーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する5本のネジ（M2x3）を取り付けます。
4. バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。

次の手順

1. ベース カバーを取り付けます。
2. コンピューター内部の作業を終えた後に手順に従います。

バッテリーケーブル

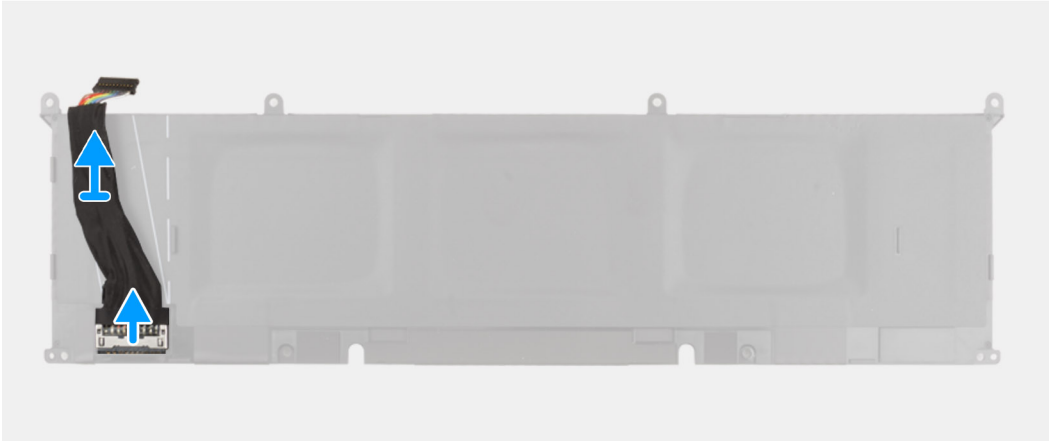
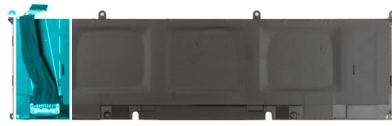
バッテリー ケーブルの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
 2. ベース カバーを取り外します。
 3. バッテリーを取り外します。
- ⓘ** **メモ:** サービスのためにバッテリーをシステム ボードから外した場合は、システムで RTC バッテリーのリセットが実行され、システムの起動中に遅延が発生します。

このタスクについて

次の画像はバッテリー ケーブルの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. バッテリーを裏返し、バッテリーのルーティングガイドからバッテリーケーブルを外します。
2. バッテリーケーブルをバッテリーのコネクターから外します。
3. バッテリーケーブルを持ち上げてバッテリーから外します。

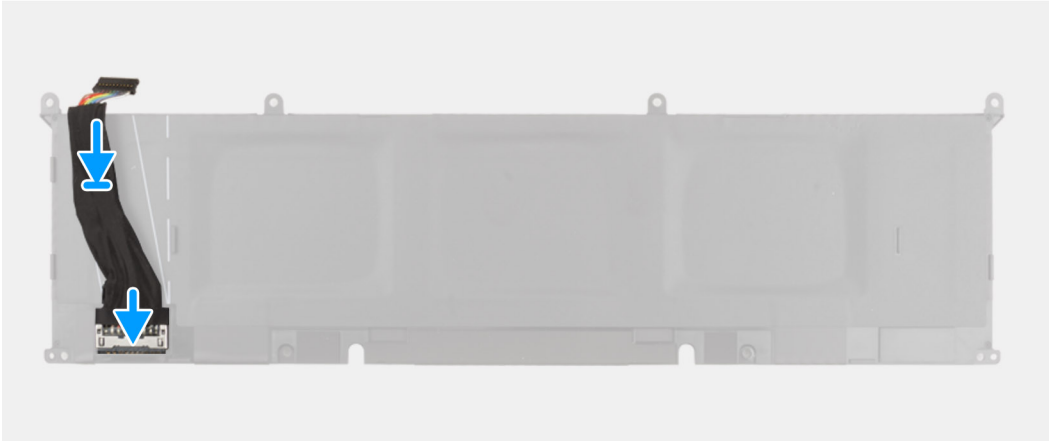
バッテリーケーブルの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は、バッテリーケーブルの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. バッテリー ケーブルをバッテリーに合わせて配置します。
2. バッテリー ケーブルをバッテリーの配線ガイドに沿って配線します。
3. バッテリーケーブルをバッテリーのコネクタに接続します。

次の手順

1. バッテリーを取り付けます。
2. ベース カバーを取り付けます。
3. [コンピューター内部の作業を終えた後](#)にの手順に従います。


メモリ

メモリー モジュールの取り外し

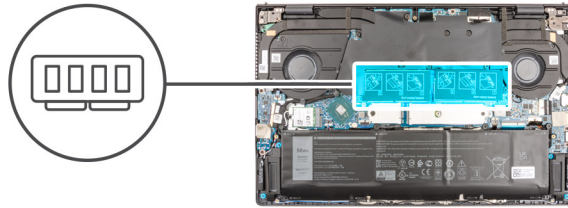
前提条件

1. 「[PC 内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [サービス モード](#)を起動します。
3. [ベース カバー](#)を取り外します。

このタスクについて

 **メモ:** Vostro 15 7510 は 2 個のメモリー スロットをサポートしています。

次の画像はメモリー モジュールの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. 透明シートをはがしてメモリモジュールを取り出せるようにします。
 2. メモリー モジュールが持ち上がるまで、メモリー モジュールを固定している固定クリップを引き上げます。
 3. メモリーモジュールをメモリーモジュールスロットから取り外します。
- ① **メモ:** 手順 1~3 を繰り返して、お使いの PC に取り付けられている他のメモリー モジュールを取り外します。

メモリー モジュールの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

① **メモ:** Vostro 15 7510 は 2 個のメモリー スロットをサポートしています。

以下の画像はメモリー モジュールの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. 透明シートをはがしてメモリモジュールスロットにアクセスします。
2. メモリモジュールの切り込みをメモリモジュールスロットのタブに合わせます。
3. メモリモジュールを傾けて、メモリモジュールスロットにしっかりと差し込みます。
4. 所定の位置にカチッと収まるまで、メモリモジュールを押し込みます。
 - ① **メモ:** カチッという感触がない場合は、メモリモジュールを取り外して、もう一度差し込んでください。
 - ① **メモ:** 手順 1~4 を繰り返して、PC に他のメモリモジュールを取り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. サービスモードを終了します。
3. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ソリッドステートドライブ : M.2 スロット 1

2230 ソリッドステートドライブを M.2 スロット 1 から取り外す

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。

① **メモ:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。

① **メモ:** データロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときにソリッドステートドライブを取り外さないでください。

2. サービスモードを起動します。

3. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

① **メモ:** M.2 スロット 1 に取り付けられている M.2 カードは、発注時の構成によって異なります。M.2 スロット 1 でサポートされているカード構成：

- M.2 2230 ソリッドステートドライブ + M.2 2230 ブラケット
- M.2 2280 ソリッドステートドライブ

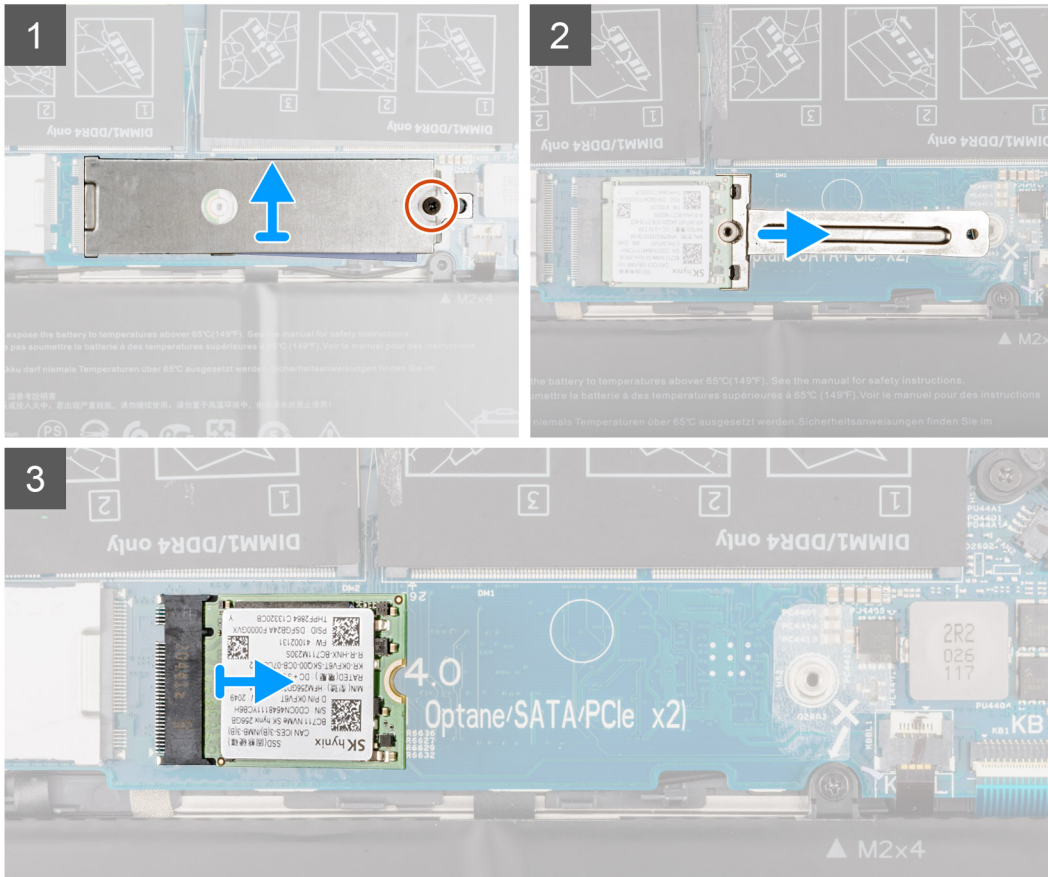
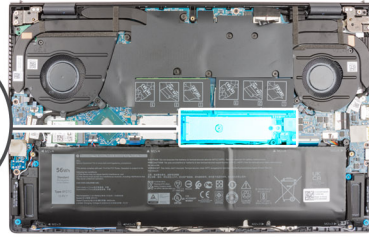
① **メモ:** M.2 スロット 1 に M.2 2280 ソリッドステートドライブを搭載したシステムを注文し、それを M.2 2230 ソリッドステートドライブに交換する場合は、ブラケット（別売りのため、Dell サポートにお問い合わせください）が必要です。

① **メモ:** この手順は、M.2 スロット 1 に取り付けられた 2230 ソリッドステートドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。

次の画像は、M.2 スロット 1 に取り付けられている 2230 ソリッドステートドライブの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. ソリッドステートドライブのサーマル シールドとソリッドステートドライブをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ (M2x4) を外します。
2. ソリッドステートドライブのサーマル シールドをスライドさせて持ち上げ、ソリッドステートドライブから取り外します。
3. ソリッドステートドライブ ブラケットをスライドさせて、M.2 スロット 1 から取り外します。
4. ソリッドステートドライブをスライドさせて、M.2 スロット 1 から取り外します。

2230 ソリッドステートドライブを M.2 スロット 1 に取り付ける

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

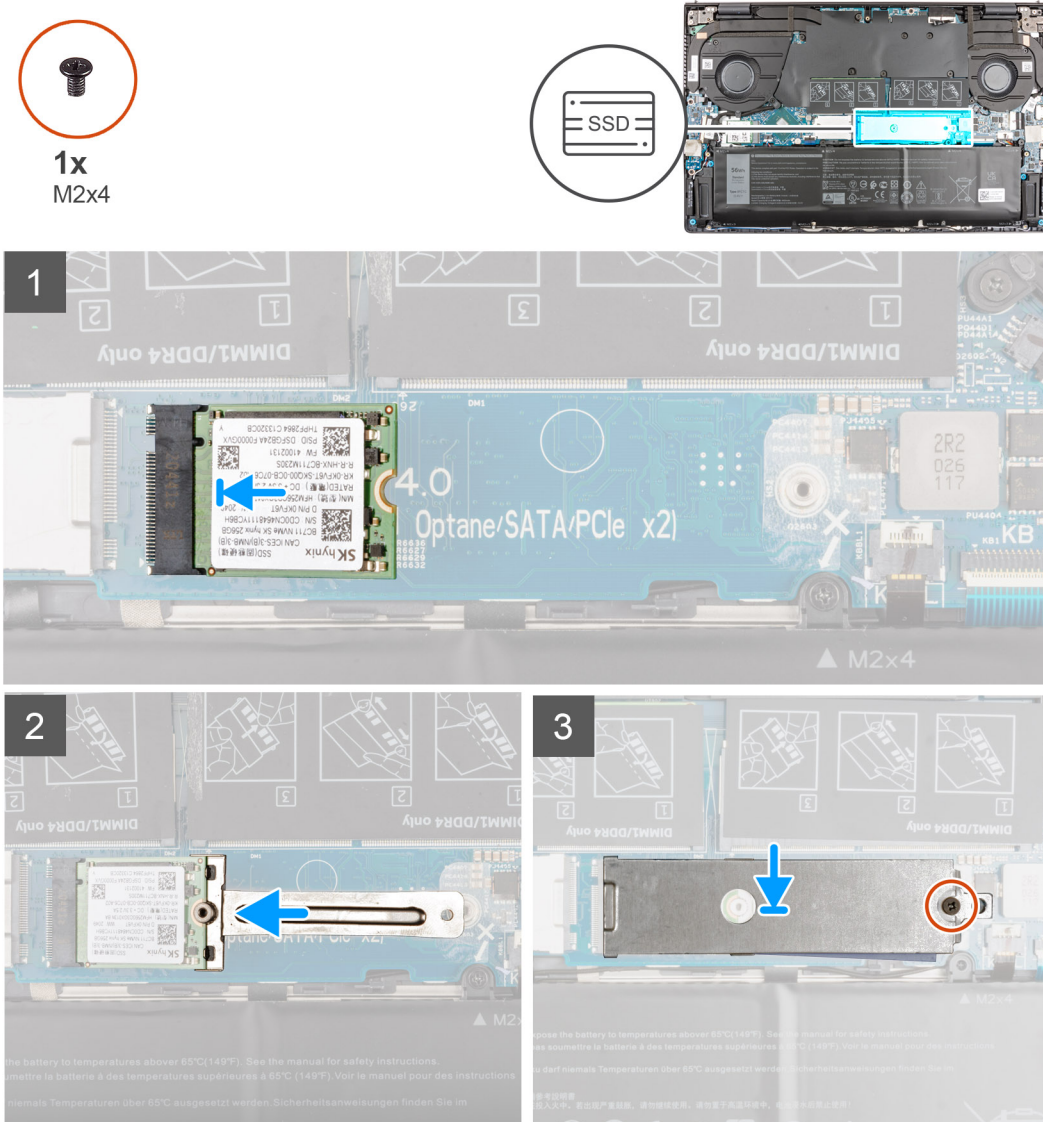
- ① **メモ:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。
- ① **メモ:** M.2 スロット 1 に取り付けられている M.2 カードは、発注時の構成によって異なります。M.2 スロット 1 でサポートされているカード構成：
 - M.2 2230 ソリッドステートドライブ + M.2 2230 ブラケット

- M.2 2280 ソリッドステートドライブ

メモ: M.2 スロット 1 に M.2 2280 ソリッドステートドライブを搭載したシステムを注文し、それを M.2 2230 ソリッドステートドライブに交換する場合は、ブラケット（別売りのため、Dell サポートにお問い合わせください）が必要になる場合があります。

メモ: この手順は、M.2 スロット 1 に 2230 ソリッドステートドライブを取り付ける場合にのみ適用されます。

次の画像は、M.2 スロット 1 に取り付けられている 2230 ソリッドステートドライブの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. ソリッドステートドライブの切り込みをソリッドステートドライブ スロットのタブの位置に合わせます。
2. ソリッドステートドライブを傾けて、ソリッドステートドライブ スロットにしっかりと差し込みます。
3. ソリッドステートドライブの切り込みをブラケットの固定ベグに合わせ、ソリッドステートドライブを所定の位置に固定します。
4. ソリッドステートドライブのサーマル シールドを、ソリッドステートドライブ上にセットします。
5. ソリッドステートドライブのサーマル シールドとソリッドステートドライブをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ（M2x4）を取り付けます。

次の手順

1. ベース カバーを取り付けます。
2. サービス モードを終了します。
3. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

2280 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 1 から取り外す

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
 - ① **メモ:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。
 - ① **メモ:** データロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときにソリッドステートドライブを取り外さないでください。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。

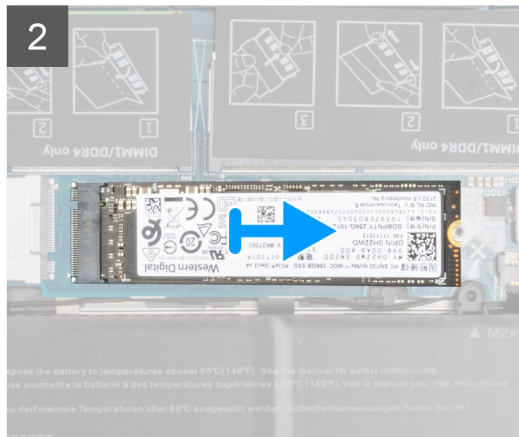
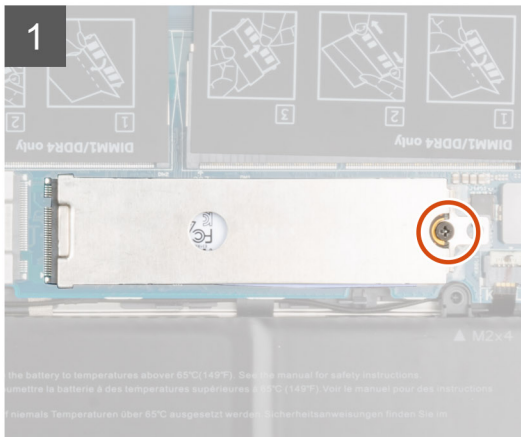
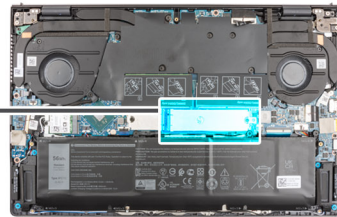
このタスクについて

- ① **メモ:** M.2 スロット 1 に取り付けられている M.2 カードは、発注時の構成によって異なります。M.2 スロット 1 でサポートされているカード構成：
 - M.2 2230 ソリッドステートドライブ + M.2 2230 マウント ブラケット
 - M.2 2280 ソリッドステートドライブ
- ① **メモ:** M.2 スロット 1 に M.2 2280 ソリッドステートドライブを搭載したシステムを注文し、M.2 2230 ソリッドステートドライブとの交換を希望する場合は、マウント ブラケットが必要になります（別売のため、Dell サポートにお問い合わせください）。
- ① **メモ:** この手順は、M.2 スロット 1 に取り付けられた 2280 ソリッドステートドライブが搭載されている PC にも適用されます。

次の画像は、M.2 スロット 1 に取り付けられている 2280 ソリッドステートドライブの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. ソリッドステートドライブのサーマル シールドとソリッドステートドライブをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ（M2x4）を外します。
2. ソリッドステートドライブのサーマル シールドをスライドさせて持ち上げ、ソリッドステートドライブから取り外します。
3. 2280 ソリッドステートドライブを引き出して持ち上げ、システム ボードの M.2 ソリッドステートドライブ スロット 1 から外します。

M.2 スロット 1 での 2280 ソリッドステートドライブの取り付け

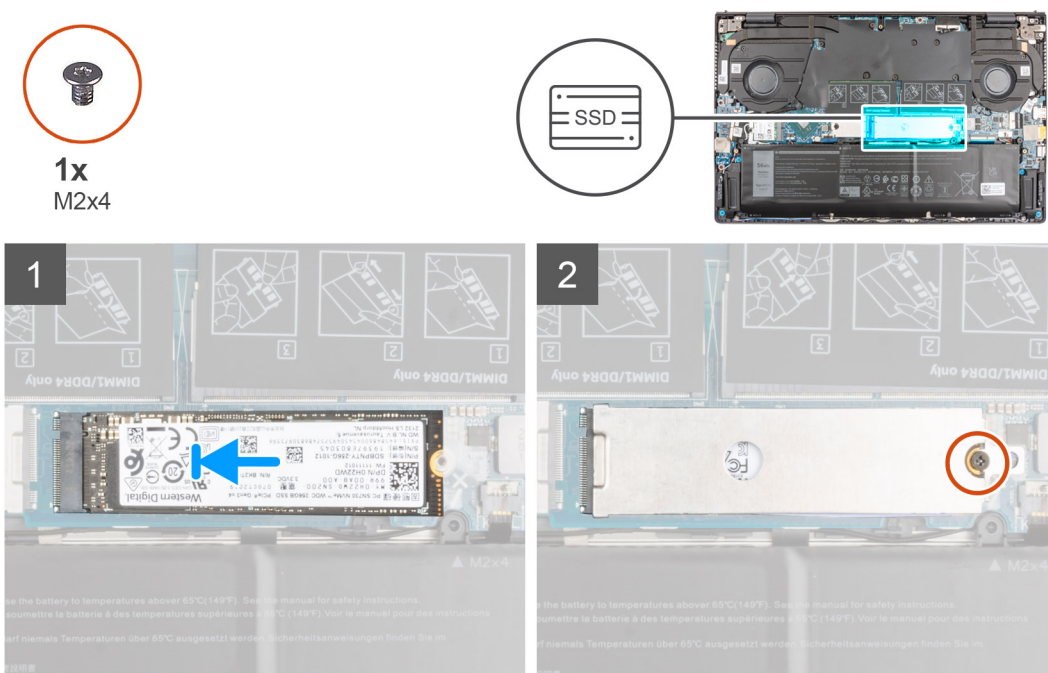
前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

- ① **メモ:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。
- ① **メモ:** M.2 スロット 1 に取り付けられている M.2 カードは、発注時の構成によって異なります。M.2 スロット 1 でサポートされているカード構成：
 - M.2 2230 ソリッドステートドライブ + M.2 2230 マウント ブラケット
 - M.2 2280 ソリッドステートドライブ
- ① **メモ:** M.2 スロット 1 に M.2 2280 ソリッドステートドライブを搭載したシステムを注文し、M.2 2230 ソリッドステートドライブとの交換を希望する場合は、マウント ブラケットが必要になります（別売のため、Dell サポートにお問い合わせください）。
- ① **メモ:** この手順は、M.2 スロット 1 に 2280 ソリッドステートドライブを取り付けている場合に適用されます。
- ① **メモ:** M.2 2280 NVMe Gen 4.0 x4 ソリッドステートドライブを取り付ける場合は、温度パフォーマンスを向上させるために、Dell サポートに銅製のサーマル シールドをオーダーすることができます。

次の画像は、M.2 スロット 1 に取り付けられている 2280 ソリッドステートドライブの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. 2280 ソリッドステートドライブの切り込みをソリッドステートドライブ スロットのタブに合わせます。
2. ソリッドステートドライブを傾けて、ソリッドステートドライブ スロットにしっかりと差し込みます。
3. ソリッドステートドライブのサーマル シールドを、ソリッドステートドライブ上にセットします。
4. ソリッドステートドライブのサーマル シールドのネジ穴を、パームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
5. ソリッドステートドライブのサーマル シールドとソリッドステートドライブをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ（M2x4）を取り付けます。

次の手順

1. ベース カバーを取り付けます。
2. サービス モードを終了します。

3. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ソリッドステートドライブ : M.2 スロット 2

2230 ソリッドステートドライブを M.2 スロット 2 から取り外す

前提条件

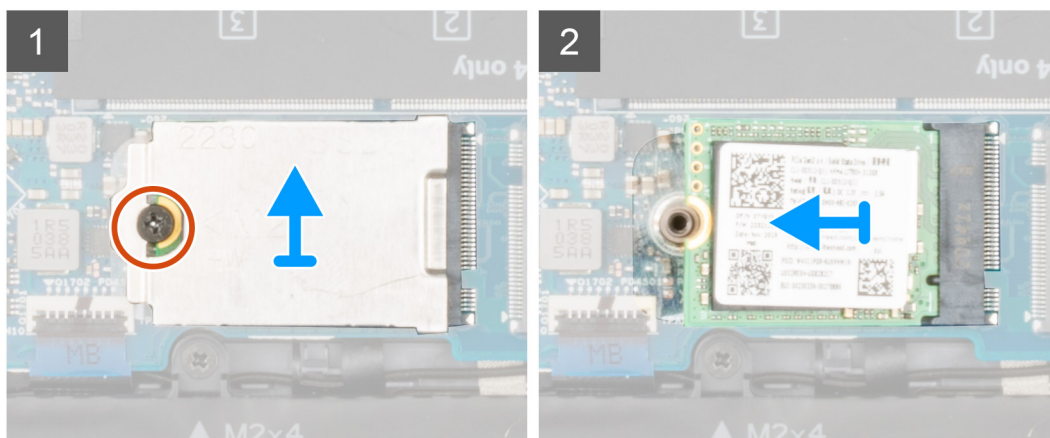
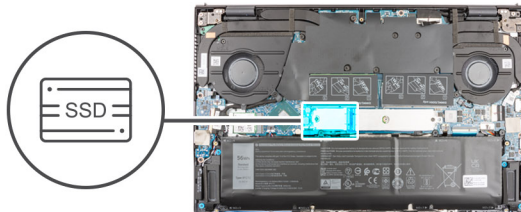
- ① **メモ:** M.2 スロット 2 では、2230 ソリッドステートドライブのみがサポートされています。
 - ① **メモ:** この手順は、M.2 スロット 2 に取り付けられた 2230 ソリッドステートドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。
1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
 - ① **メモ:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。
 - ① **メモ:** データロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときにソリッドステートドライブを取り外さないでください。
 2. サービスモードを起動します。
 3. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、M.2 スロット 2 に取り付けられている 2230 ソリッドステートドライブの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. ソリッドステートドライブのサーマルシールドとソリッドステートドライブをパームレストとキーボードアセンブリに固定しているネジ（M2x4）を外します。
2. ソリッドステートドライブのサーマルシールドをスライドさせて持ち上げ、ソリッドステートドライブから取り外します。
3. ソリッドステートドライブをスライドさせて、M.2 スロット 2 から取り外します。

2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 に取り付ける

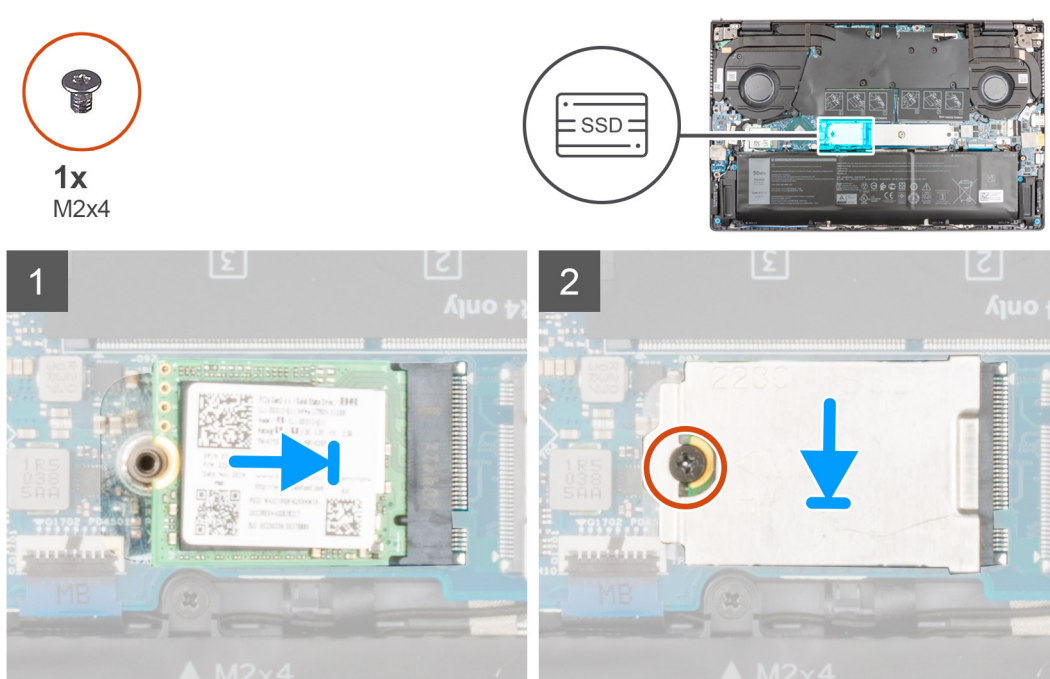
前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

- ① **メモ:** ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱う場合は細心の注意を払ってください。
- ① **メモ:** M.2 スロット 2 では、2230 ソリッドステートドライブのみがサポートされています。
- ① **メモ:** この手順は、M.2 スロット 2 に取り付けられた 2230 ソリッドステートドライブが搭載されている PC にのみ適用されます。

次の画像は、M.2 スロット 2 に取り付けられている 2230 ソリッドステートドライブの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

- 2230 ソリッドステートドライブの切り込みを、システム ボードの M.2 スロット 2 のタブに合わせます。
- ソリッドステートドライブをシステム ボードの M.2 スロット 2 に差し込みます。
- ソリッドステートドライブのサーマル シールドを、ソリッドステートドライブ上にセットします。
- ソリッドステートドライブのサーマル シールドのネジ穴を、パームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
- ソリッドステートドライブのサーマル シールドとソリッドステートドライブをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ (M2x4) を取り付けます。

次の手順

- ベース カバーを取り付けます。
- サービス モードを終了します。
- 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ワイヤレスカード

ワイヤレス カードの取り外し

前提条件

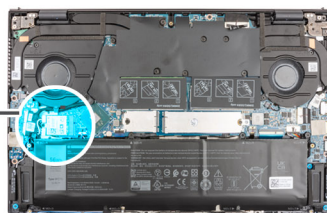
1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像はワイヤレス カードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. ワイヤレスカード ブラケットをワイヤレス カードとシステム ボードに固定しているネジ（M2x4）を取り外します。
2. ワイヤレスカード ブラケットをワイヤレスカードから取り外します。
3. アンテナケーブルをワイヤレスカードから外します。
4. ワイヤレス カードをスライドさせて、ワイヤレスカード スロットから取り外します。

ワイヤレスカードの取り付け

前提条件

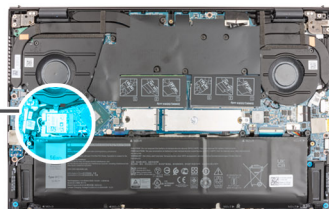
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はワイヤレスカードの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. アンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。
次の表に、お使いの PC がサポートするワイヤレスカード用アンテナケーブルの色分けを示します。

表 2. アンテナケーブルの色分け

ワイヤレスカードのコネクター	アンテナケーブルの色	シルクスクリーンのマーク	
メイン	白色	メイン	△（白色の三角形）
補助	黒色	補助	▲（黒色の三角形）

2. ワイヤレスカードの切り込みをシステムボードのワイヤレスカードスロットのタブに合わせます。
3. ワイヤレスカードを斜めにして、システムボードのワイヤレスカードスロットに差し込みます。
4. ワイヤレスカードブラケットのネジ穴をワイヤレスカードとシステムボードのネジ穴に合わせます。

5. ワイヤレスカード ブラケットをワイヤレス カードとシステム ボードに固定するネジ (M2x4) を取り付けます。

次の手順

1. ベース カバーを取り付けます。
2. サービス モードを終了します。
3. 「PC 内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

GPU ファン

GPU ファンの取り外し

前提条件

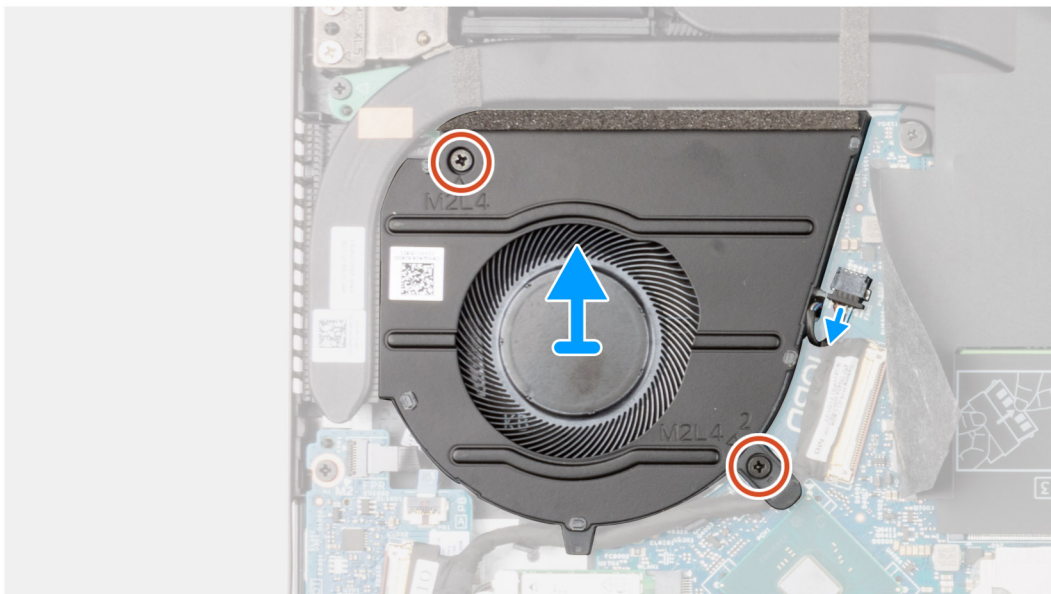
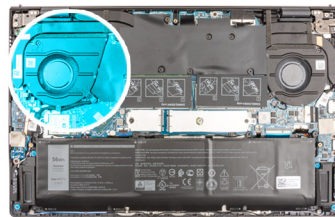
1. 「PC 内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

図は GPU ファンの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2x
M2x4



手順

1. マイラー カバーをめくって開きます。
2. GPU ファン ケーブルをシステム ボードから取り外します。
3. GPU ファンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x4) を外します。
4. GPU ファンの下にある配線ガイドから I/O ケーブルの配線を外します。
5. GPU ファンをスライドさせて持ち上げ、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

GPU ファンの取り付け

前提条件

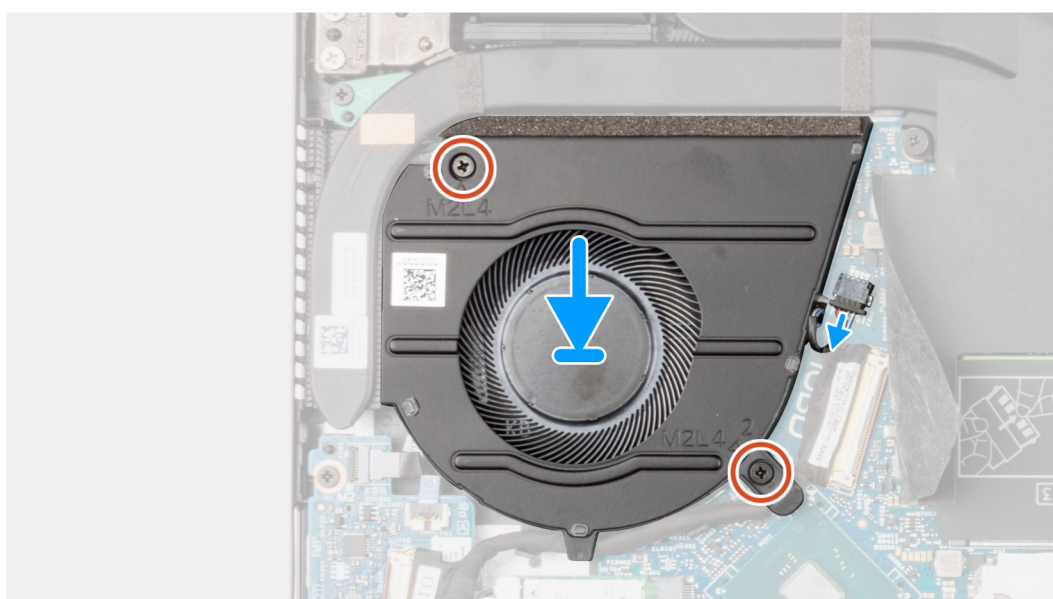
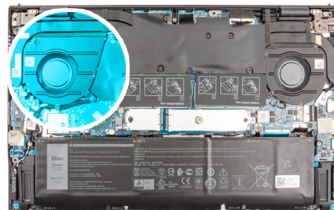
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

図は GPU ファンの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M2x4



手順

1. マイラー カバーを持ち上げて、ケーブル コネクタにアクセスします。
2. I/O ケーブルを GPU ファンの下の配線ガイドに沿って配線します。
3. GPU ファンをスライドさせて、パームレストとキーボード アセンブリーにセットします。
4. GPU ファンのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
5. GPU ファンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x4) を取り付けます。
6. GPU ファン ケーブルをシステム ボードに接続します。

次の手順

1. [ベース カバー](#) を取り付けます。
2. [サービス モード](#) を終了します。
3. [「PC 内部の作業を終えた後に」](#) の手順に従います。

システム ファン

システム ファンの取り外し

前提条件

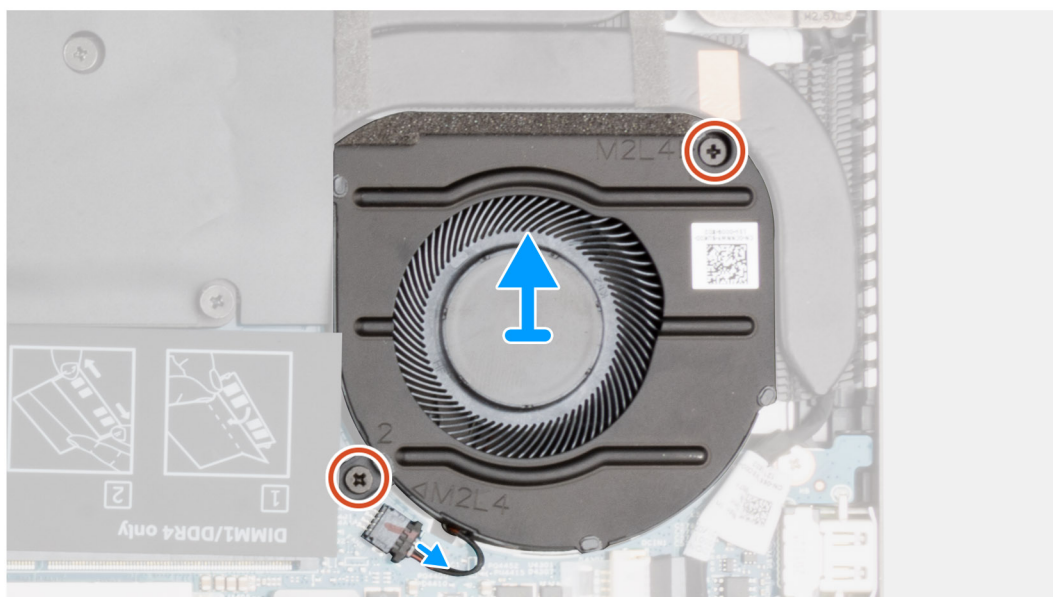
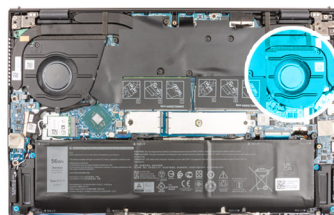
1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像はファンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2x
M2x4



手順

1. ファン ケーブルをシステム ボードから外します。
2. ファンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x4) を外します。
3. ファンを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

システム ファンの取り付け

前提条件

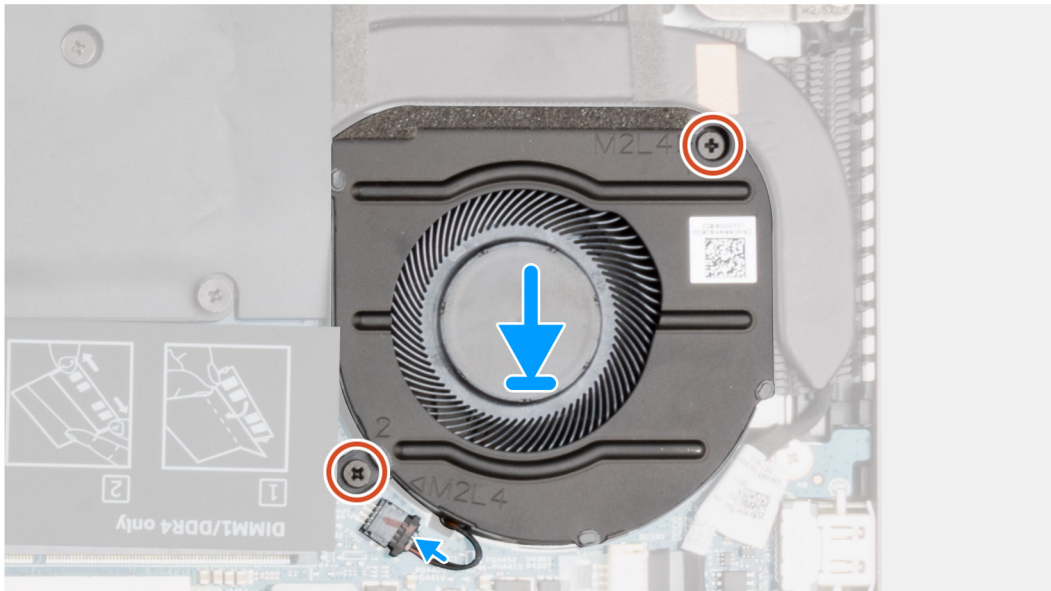
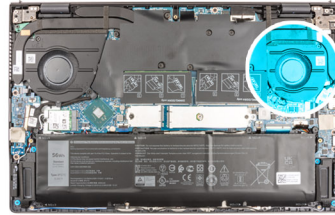
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はファンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M2x4



手順

1. 位置合わせポストを使用して、ファンをパームレストとキーボード アセンブリーにセットします。
2. ファンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ（M2x4）を取り付けます。
3. ファンケーブルをシステム ボードに接続します。

次の手順

1. ベース カバーを取り付けます。
2. サービス モードを終了します。
3. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンク

ヒート シンクの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。

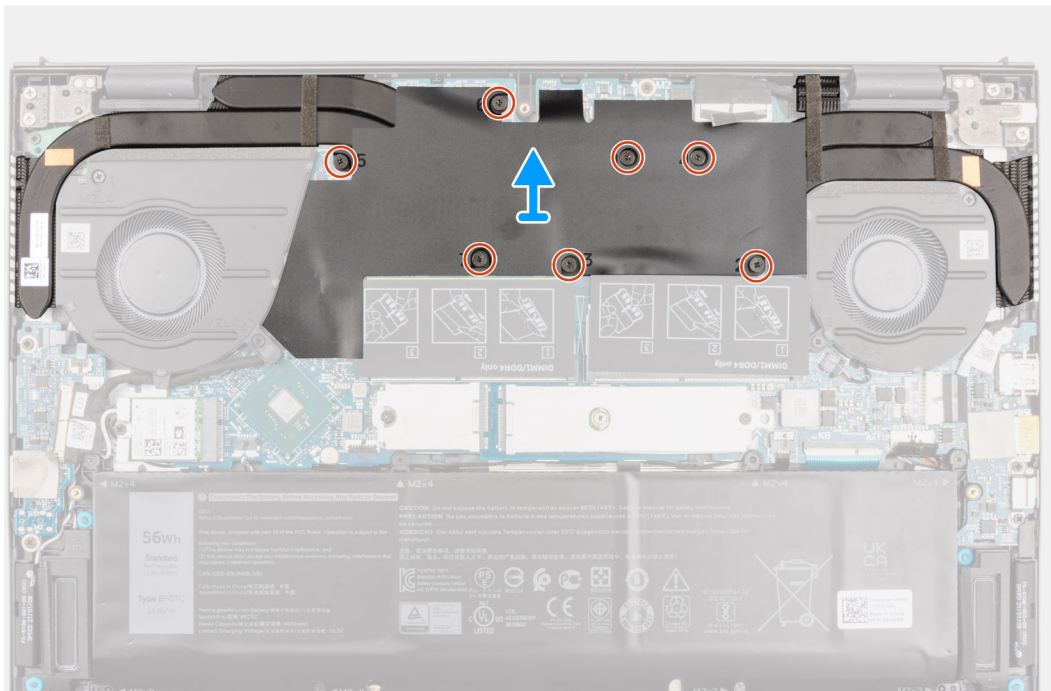
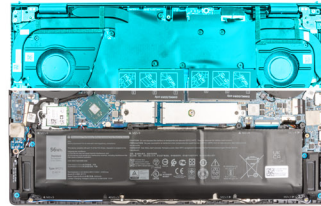
注意: プロセッサの冷却効果を最大にするために、ヒート シンクの放熱部分には触れないでください。皮脂が付着すると、サーマルグリースの放熱機能が低下する場合があります。

メモ: 通常の実運用中に、ヒート シンクが高温になる場合があります。温度が十分に下がりヒート シンクが冷えるのを待って、触ってください。

2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像はヒートシンクの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. マイラー カバー上の表示とは逆の順序で、ヒートシンクをシステム ボードに固定している 7 本の拘束ネジを緩めます。
2. ヒートシンクをマイラー カバーと一緒に持ち上げて、システム ボードから取り外します。

ヒートシンクの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

△注意: ヒートシンクの位置が正しく合っていないと、システム ボードとプロセッサを損傷する可能性があります。

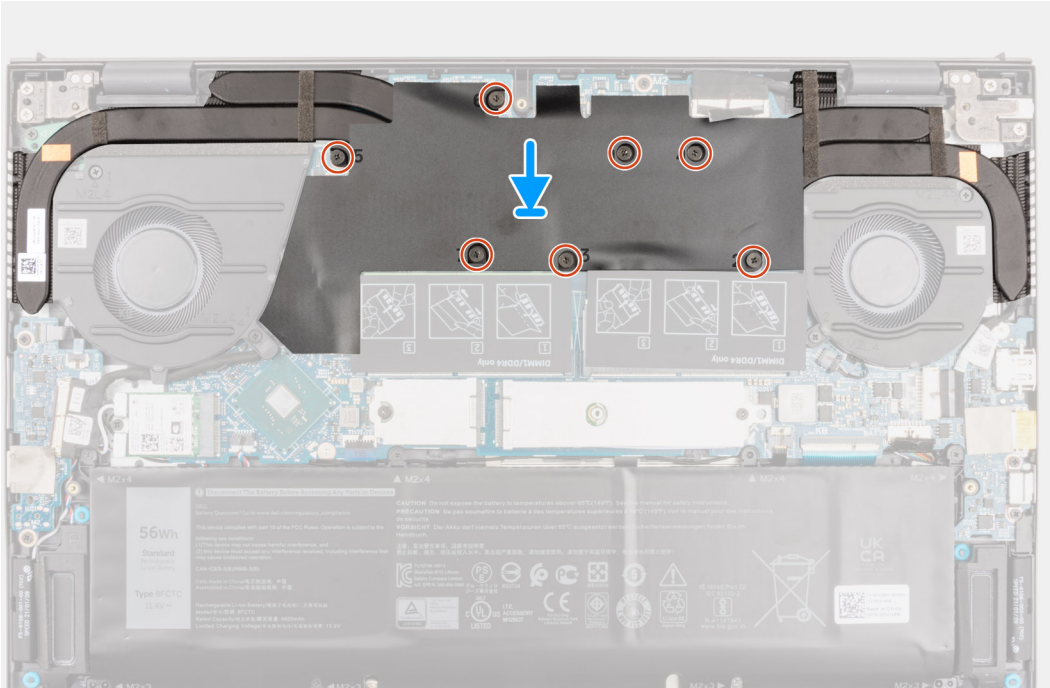
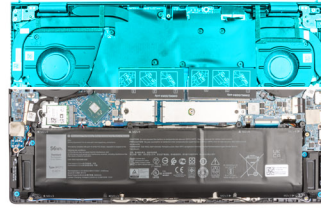
①メモ: システム ボードまたはヒートシンクのいずれかを取り付ける場合は、熱伝導性を確保するために、キット内のサーマルパッド/ペーストを使用してください。

このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



7x



手順

1. ヒートシンクとマイラーカバーのネジ穴をシステムボードのネジ穴に合わせます。
2. マイラーカバー上に表示されている順序で、ヒートシンクをシステムボードに固定する7本の拘束ネジを締めます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. サービスモードを終了します。
3. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

I/O ボード

I/O ボードの取り外し

前提条件

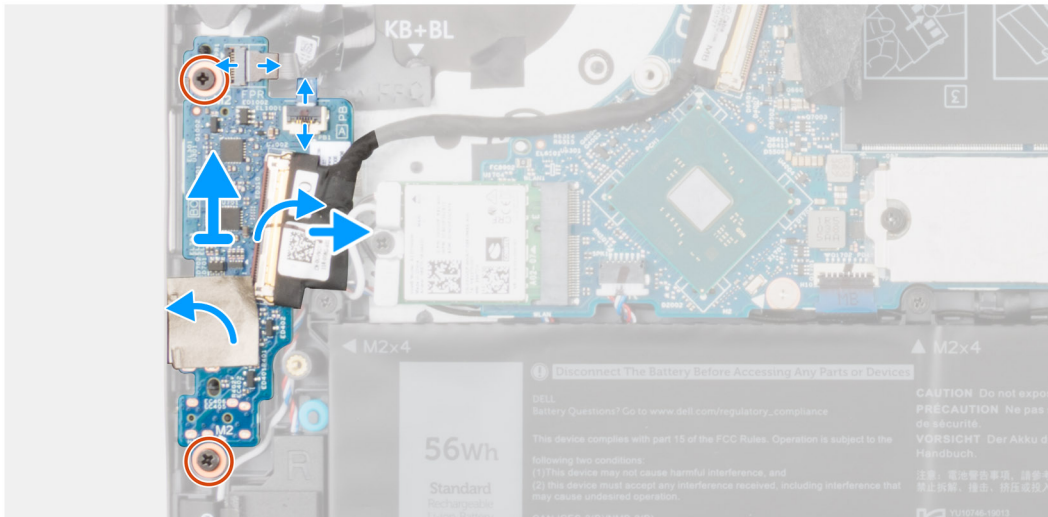
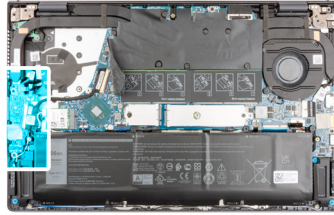
1. 「PC内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービスモードを起動します。
3. ベースカバーを取り外します。
4. GPUファンを取り外します。

このタスクについて

次の画像はI/Oボードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2x
M2x4



手順

1. ラッチを開いて、I/O ボードから指紋認証リーダー内蔵電源ボタンケーブルを外します。
2. ラッチを開いて、電源ボタンケーブルをI/O ボードから外します。
3. I/O ボードケーブルをI/O ボードに固定しているテープを剥がします。
4. ラッチを開き、I/O ボードケーブルをI/O ボードから外します。
5. I/O ボードをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している粘着テープをはがします。
6. I/O ボードをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している2本のネジ（M2x4）を外します。
7. I/O ボードを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

I/O ボードの取り付け

前提条件

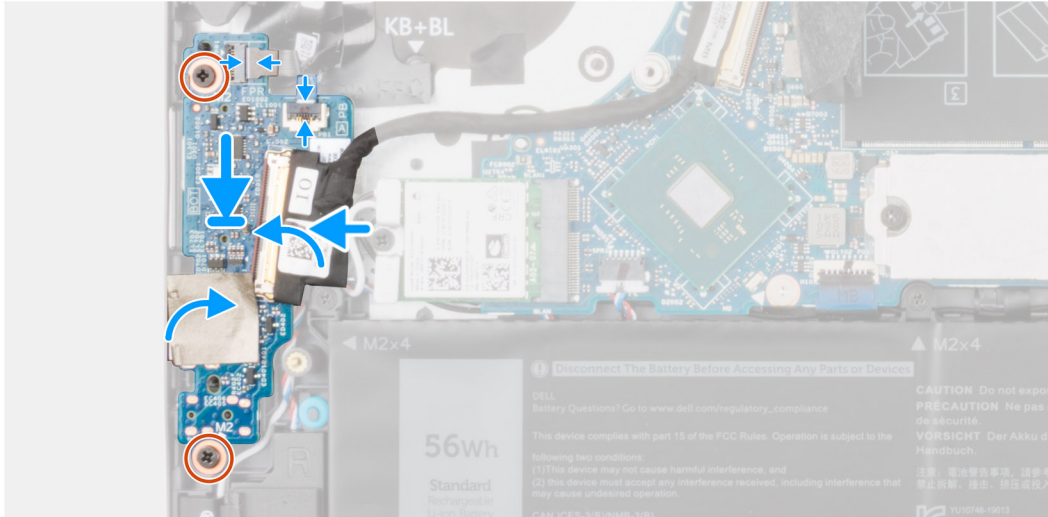
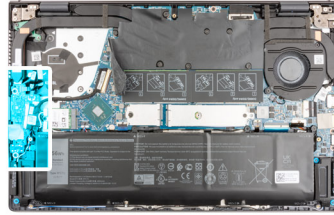
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はI/O ボードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M2x4



手順

1. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットに差し込みます。
2. I/O ボードのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
3. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x4) を取り付けます。
4. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンのケーブルを I/O ボードのコネクタに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
5. 電源ボタン ケーブルを I/O ボードに接続します。
6. I/O ボード ケーブルを I/O ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
7. I/O ボード ケーブルを I/O ボードに固定するテープを貼り付けます。
8. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する粘着テープを貼り付けます。

次の手順

1. GPU ファンを取り付けます。
2. ベース カバーを取り付けます。
3. サービス モードを終了します。
4. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

スピーカー

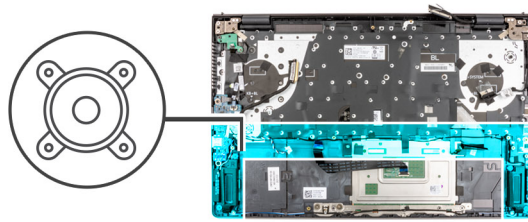
スピーカーの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。
4. バッテリーを取り外します。
5. システム ボードを取り外します。

このタスクについて

次の画像はスピーカーの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. スピーカー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているテープをはがします。
2. スピーカー ケーブルのルーティングをメモしてから、スピーカー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーのルーティング ガイドから外します。
3. スピーカー ケーブルをシステム ボードから外します。
4. スピーカーをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

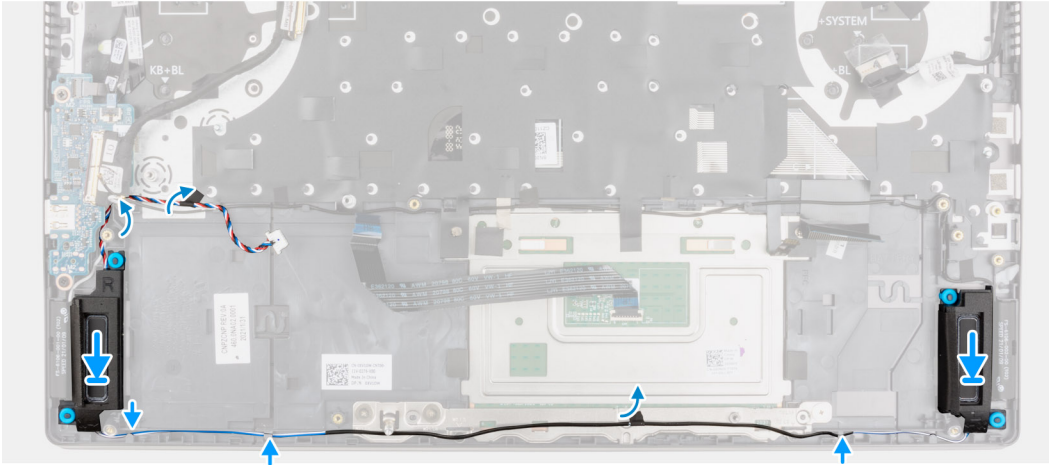
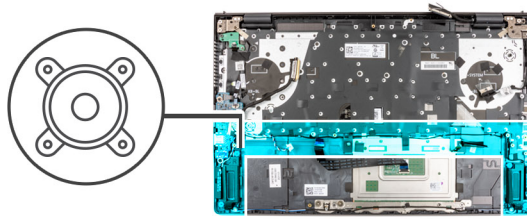
スピーカーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はスピーカーの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. 位置合わせポストとゴム製グロメットを使用して、スピーカーをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットにセットします。
2. システム ボードにスピーカー ケーブルを接続します。
3. スピーカー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーの配線ガイドに沿って配線します。
4. スピーカー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するテープを貼り付けます。

次の手順

1. システム ボードを取り付けます。
2. バッテリーを取り付けます。
3. ベース カバーを取り付けます。
4. サービス モードを終了します。
5. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

タッチパッド

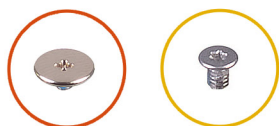
タッチパッドの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。
3. バッテリーを取り外します。

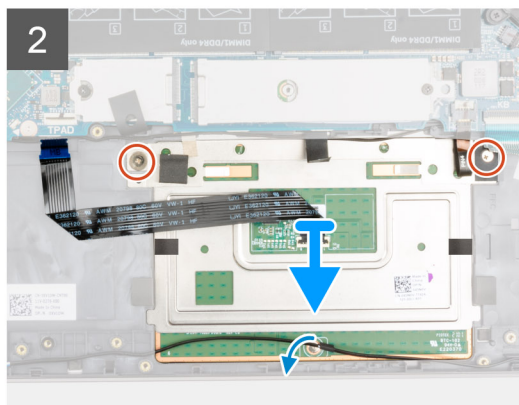
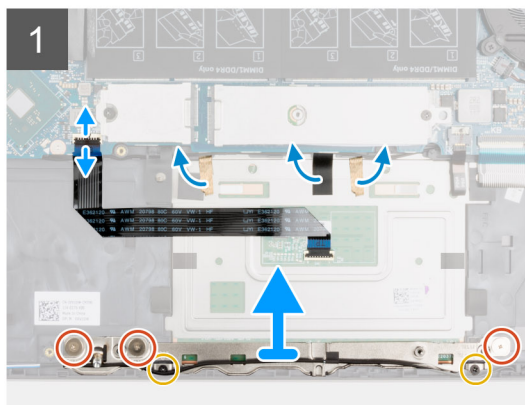
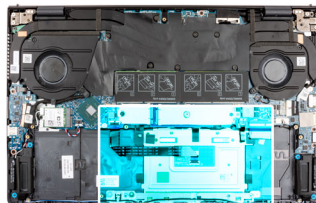
このタスクについて

次の画像はタッチパッドの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



5x
M2x1.8

2x
M2x3



手順

1. ラッチを開き、タッチパッドケーブルをシステムボードから外します。
2. タッチパッドブラケットをパームレストとキーボードアセンブリに固定しているテープをはがします。
3. タッチパッドブラケットをパームレストとキーボードアセンブリに固定している3本のネジ（M2x1.8）と2本のネジ（M2x3）を外します。
4. タッチパッドブラケットを持ち上げてパームレストとキーボードアセンブリから取り外します。
5. タッチパッドをパームレストとキーボードアセンブリに固定している2本のネジ（M2x1.8）を外します。
6. スピーカーケーブルをタッチパッドブラケットに固定しているテープをはがします。
7. タッチパッドをタッチパッドケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリから取り外します。

タッチパッドの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

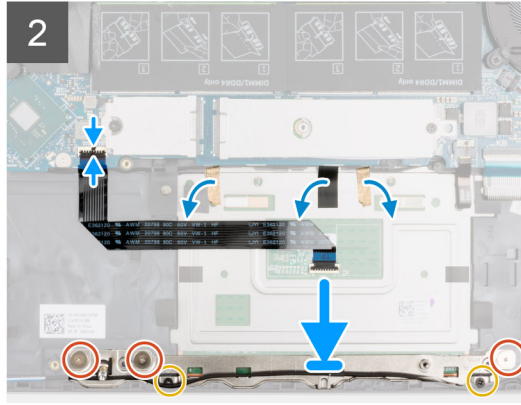
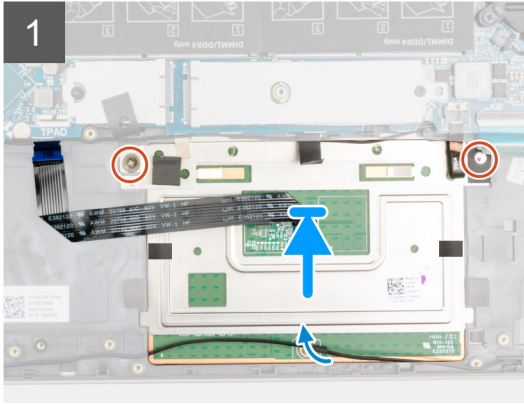
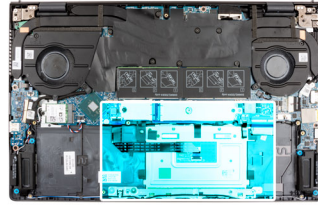
以下の画像はタッチパッドの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



5x
M2x1.8



2x
M2x3



手順

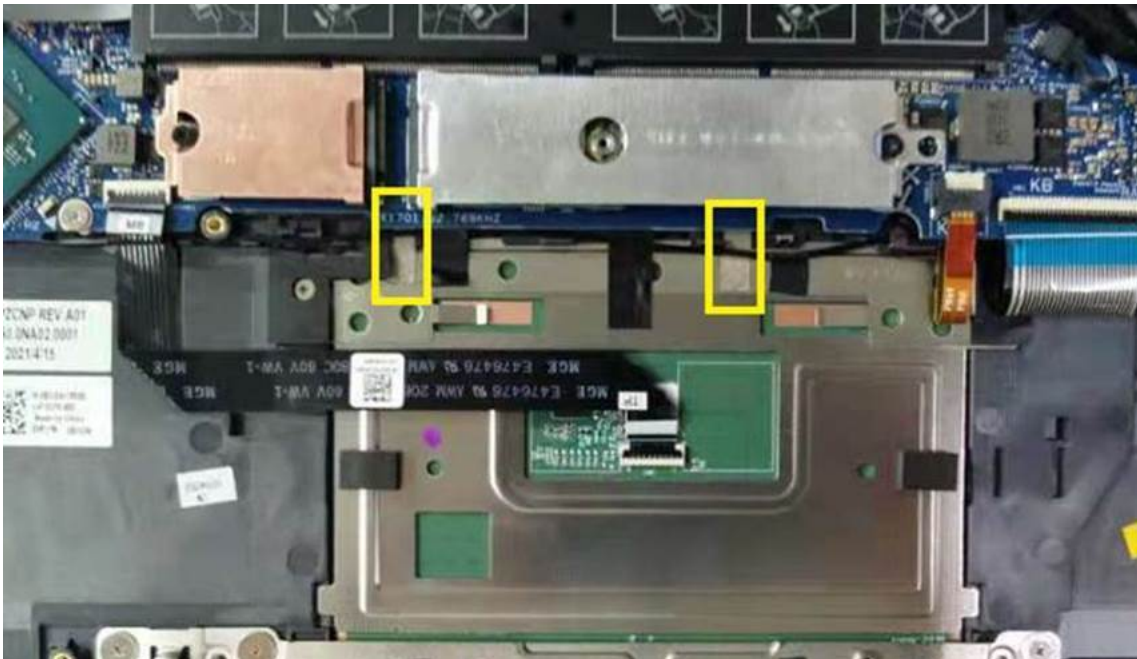
1. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットに差し込みます。

メモ: PC を表向きに置いて、ディスプレイを開きます。タッチパッドが 4 つのすべての面に沿って均等に合っていることを確認します。



2. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x1.8) を取り付けます。
3. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するテープを貼り付けます。

メモ: タッチパッドとパームレストをまたぐように、テープを元の位置に貼り付けます。



4. タッチ패드 ブラケットのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴の位置に合わせます。
5. タッチ패드 ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 3 本のネジ (M2x1.8) と 2 本のネジ (M2x3) を取り付けます。
6. タッチ패드 ケーブルをタッチパッドのコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
7. タッチ패드 ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するテープを貼り付けます。
8. スピーカー ケーブルをタッチパッドに固定するテープを貼り付けます。

次の手順

1. バッテリーを取り付けます。
2. ベース カバーを取り付けます。
3. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイアセンブリ

ディスプレイ アセンブリーの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。
4. ヒート シンクを取り外します。

このタスクについて

次の画像はディスプレイ アセンブリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



4x
M2.5x5





手順

1. モニター ケーブルをシステム ボードのコネクターから外します。
2. 左のディスプレイ ヒンジをシステム ボードに固定している 2 本のネジ (M2.5x5) を外します。
3. 右のディスプレイ ヒンジをシステム ボードに固定している 2 本のネジ (M2.5x5) を外します。
4. ディスプレイ ヒンジを 90 度の角度で開きます。
5. パームレストとキーボード アセンブリーをゆっくりスライドさせて、ディスプレイ アセンブリーから外します。

ディスプレイ アセンブリーの取り付け

前提条件

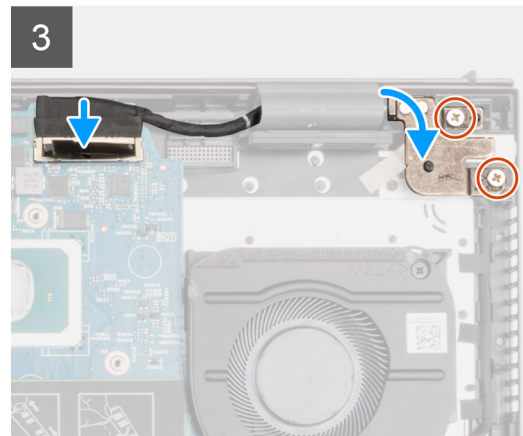
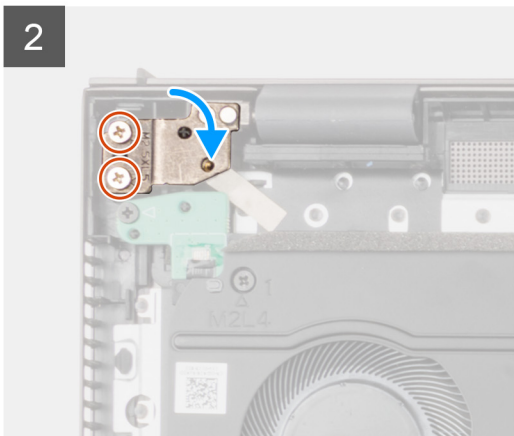
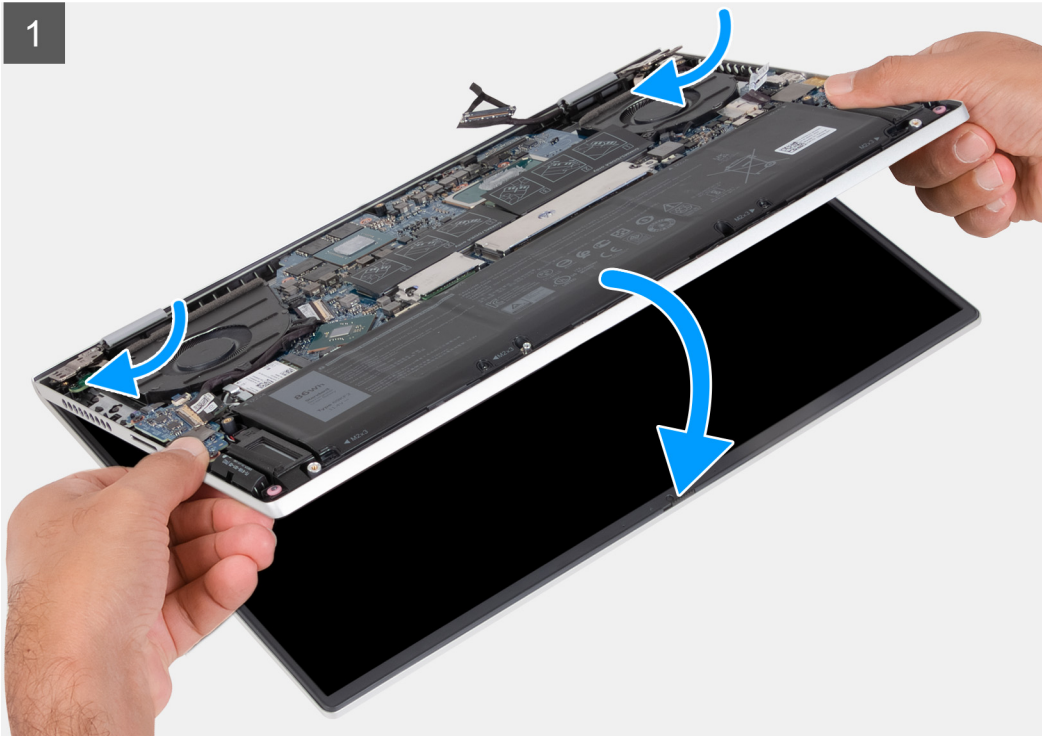
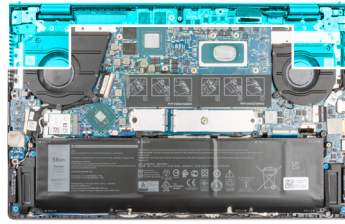
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はディスプレイ アセンブリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



4x
M2.5x5



手順

1. ディスプレイ アセンブリーを傾けて差し込み、パームレストとキーボード アセンブリーにセットします。
2. 位置合わせポストを使用して、ディスプレイ ヒンジを閉じます。
3. 右のディスプレイ ヒンジをシステム ボードに固定する 2 本のネジ (M2.5x5) を取り付けます。
4. 左のディスプレイ ヒンジをシステム ボードに固定する 2 本のネジ (M2.5x5) を取り付けます。
5. モニター ケーブルをシステム ボードのコネクタに差し込みます。

次の手順

1. ヒート シンクを取り付けます。
2. ベース カバーを取り付けます。

3. サービス モードを終了します。
4. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

指紋認証リーダー内蔵電源ボタン ボード

電源ボタン ボードの取り外し

前提条件

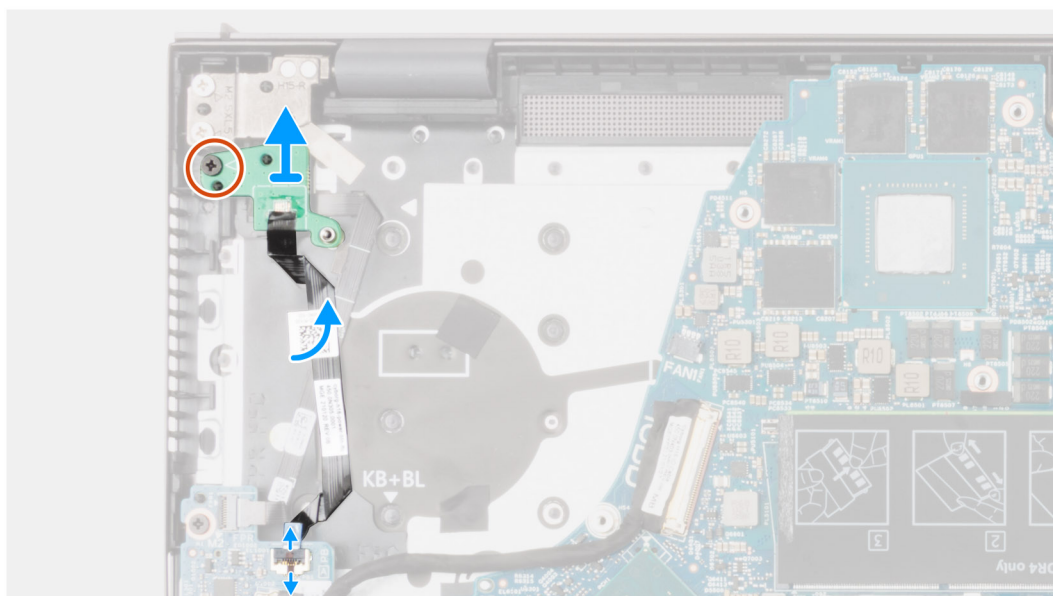
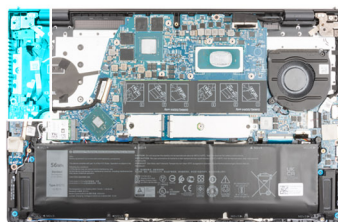
1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。
4. GPU ファンを取り外します。
5. ヒート シンクを取り外します。

このタスクについて

次の画像は電源ボタン ボードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. 電源ボタン ケーブルを I/O ボードから外します。
2. 電源ボタン ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している粘着テープをはがします。
3. ケーブル付き電源ボタン ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ (M2x4) を外します。
4. 電源ボタン ボードをケーブルとともに持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

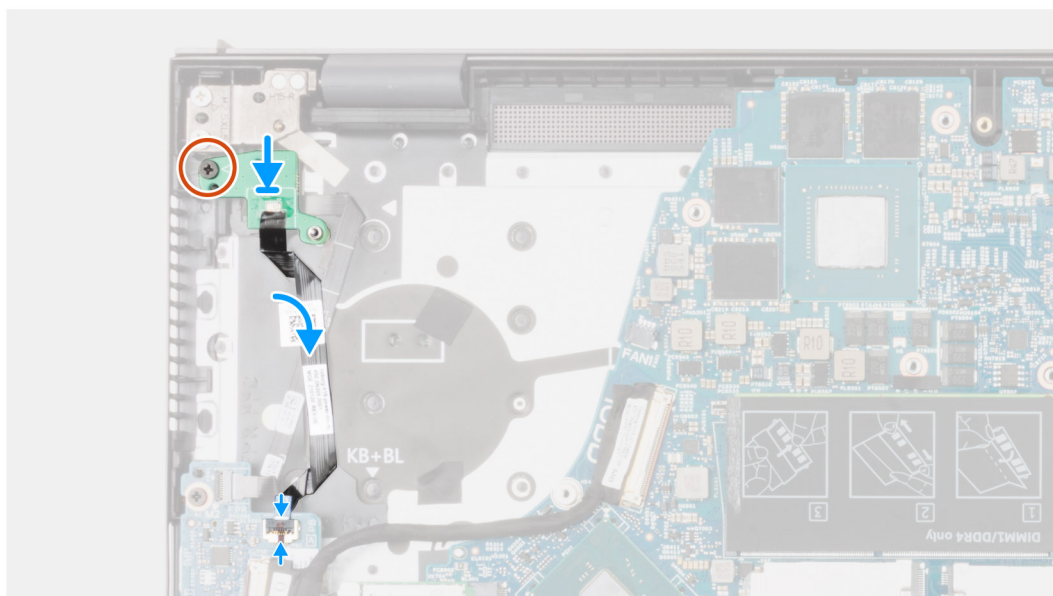
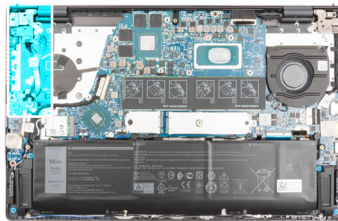
電源ボタン ボードの取り付け

このタスクについて

次の画像は電源ボタン ボードの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. 電源ボタン ボードをそのケーブルとともに、パームレストとキーボード アセンブリーの上に置きます。
2. ケーブル付き電源ボタン ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ (M2x4) を取り付けます。
3. 電源ボタン ケーブルを I/O ボードに接続します。

次の手順

1. ヒート シンクを取り付けます。
2. GPU ファンを取り付けます。
3. ベース カバーを取り付けます。
4. サービス モードを終了します。
5. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源ボタン (オプションの指紋認証リーダー内蔵)

オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。
3. バッテリーを取り外します。

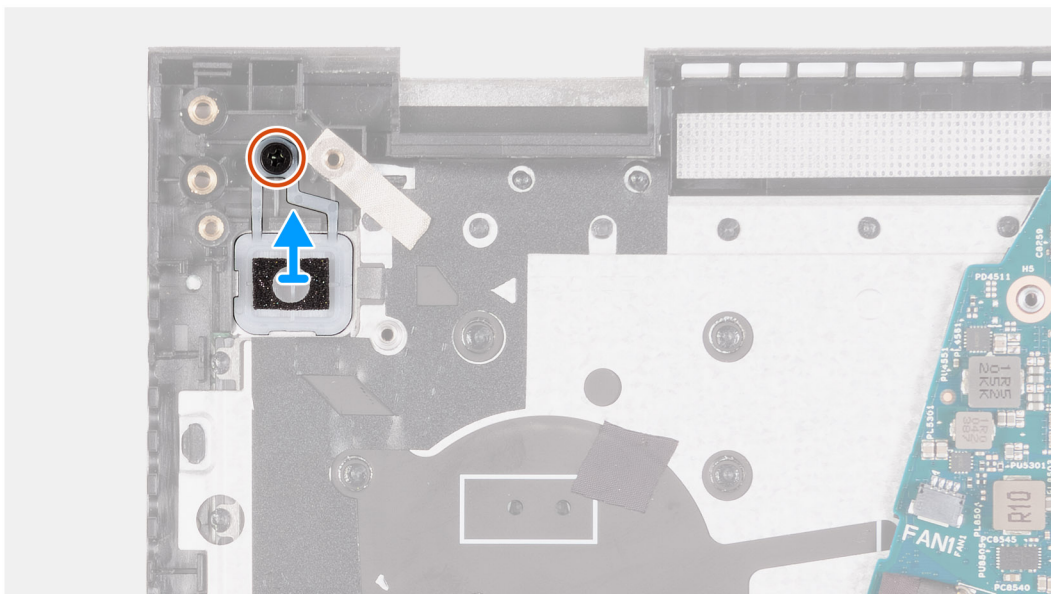
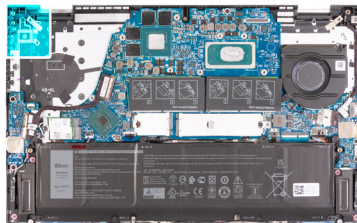
4. ヒートシンクを取り外します。
5. GPUファンを取り外します。
6. 電源ボタンボードを取り外します。

このタスクについて

次の画像はオプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリに固定しているネジ（M2x4）を外します。
2. オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリから取り外します。

オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け

前提条件

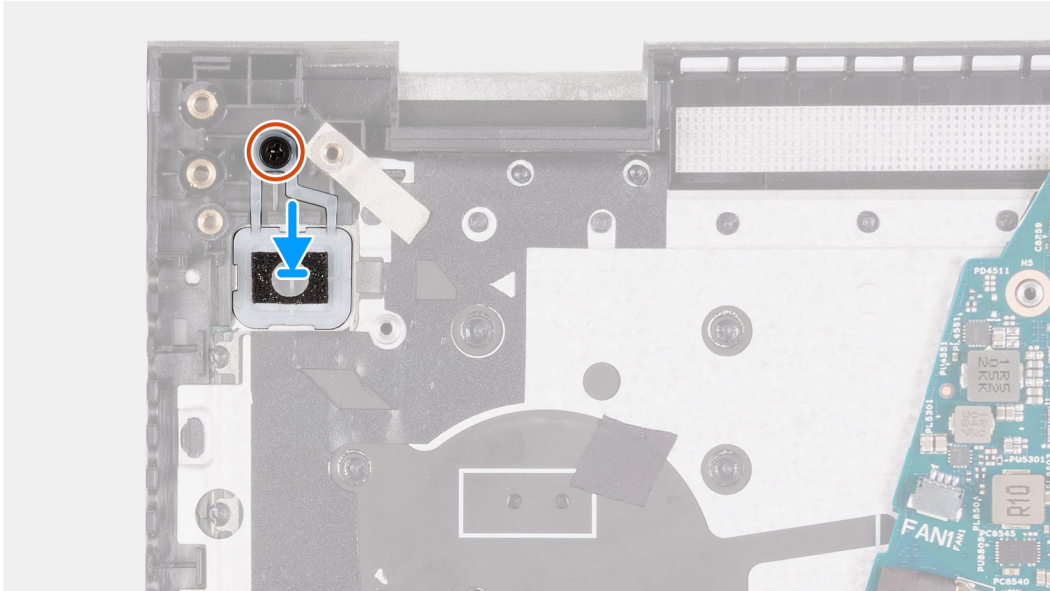
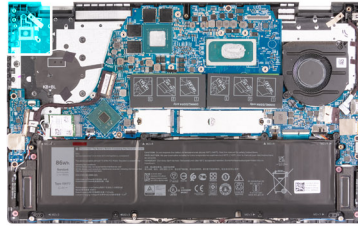
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像はオプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. 位置合わせポストを使って、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボード アセンブリーのスロットにセットします。
2. オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ（M2x4）を取り付けます。

次の手順

1. 電源ボタン ボードを取り付けます。
2. ヒートシンクを取り付けます。
3. GPU ファンを取り付けます。
4. ベース カバーを取り付けます。
5. サービス モードを終了します。
6. 「PC 内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

指紋認証リーダー内蔵電源ボタン

指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し

前提条件

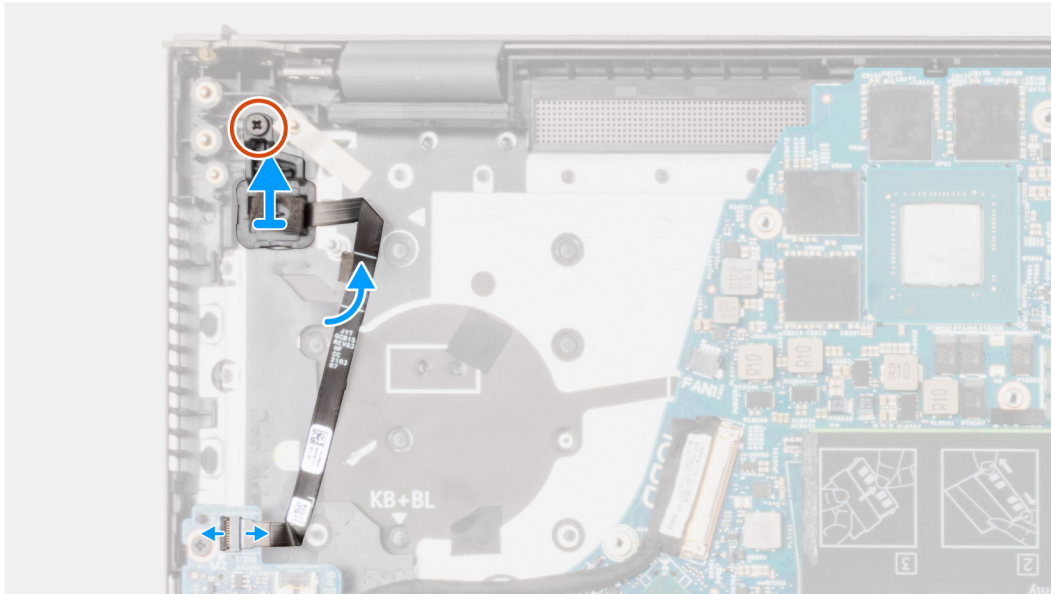
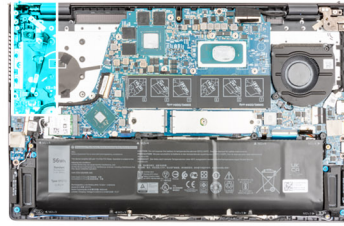
1. 「PC 内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。
4. ヒートシンクを取り外します。
5. GPU ファンを取り外します。
6. 電源ボタンボードを取り外します。

このタスクについて

次の図は、指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. 指紋認証リーダー付き電源ボタンケーブルを I/O ボードから外します。
2. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ (M2x4) を外します。
3. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

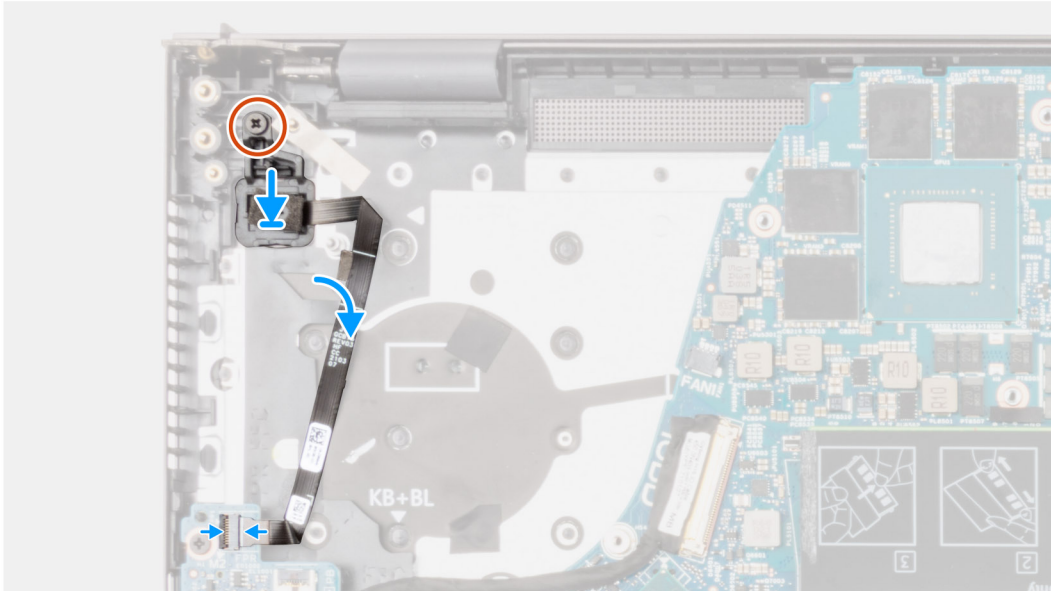
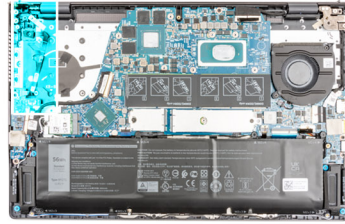
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け

このタスクについて

次の図は、指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x
M2x4



手順

1. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをケーブルと一緒にパームレストとキーボード アセンブリーに合わせてセットします。
2. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ（M2x4）を取り付けます。
3. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン ケーブルを I/O ボードに接続します。

次の手順

1. 電源ボタン ボードを取り付けます。
2. ヒート シンクを取り付けます。
3. GPU ファンを取り付けます。
4. ベース カバーを取り付けます。
5. サービス モードを終了します。
6. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源アダプタポート

電源アダプター ポートの取り外し

前提条件

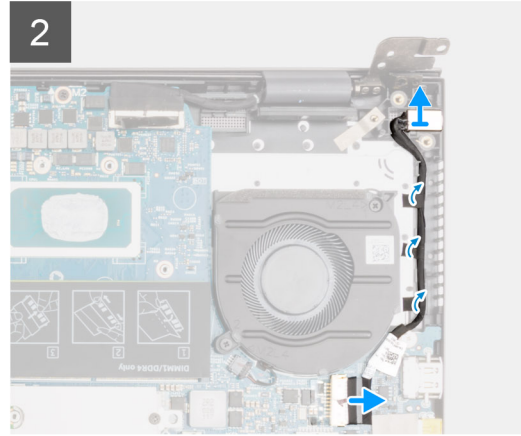
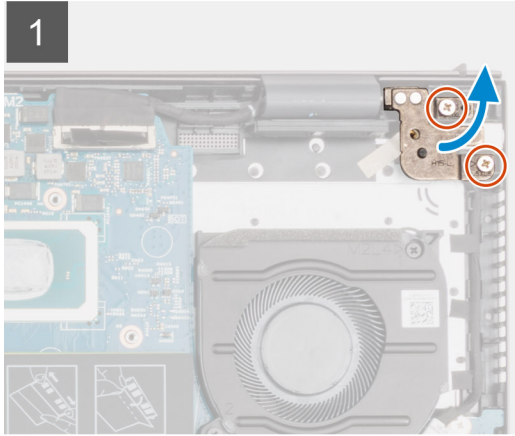
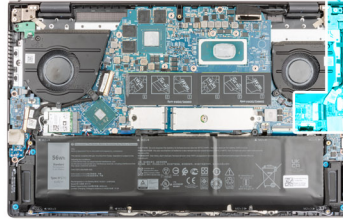
1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. サービス モードを起動します。
3. ベース カバーを取り外します。
4. ヒート シンクを取り外します。

このタスクについて

次の画像は、電源アダプター ポートの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2x
M2.5x5



手順

1. 右のディスプレイヒンジをシステムボードに固定している2本のネジ（M2.5x5）を外します。
2. ディスプレイヒンジを90度の角度で開きます。
3. 電源アダプターポートケーブルをシステムボードから外します。
4. 電源アダプターポートケーブルをシステムボードに固定しているテープをはがします。
5. 電源アダプターポートケーブルを、パームレストとキーボードアセンブリーの配線ガイドから外します。
6. 電源アダプターポートをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

電源アダプターポートの取り付け

前提条件

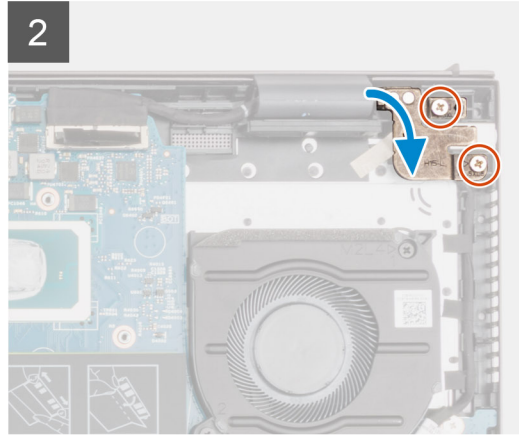
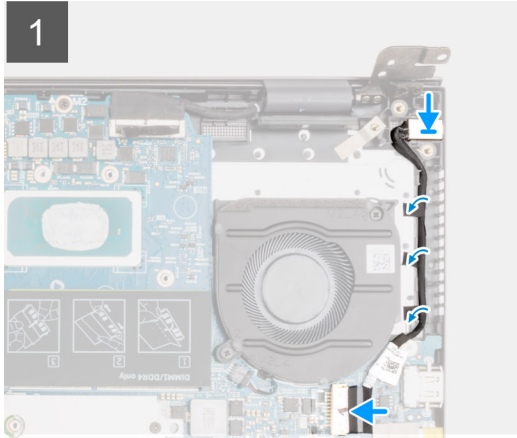
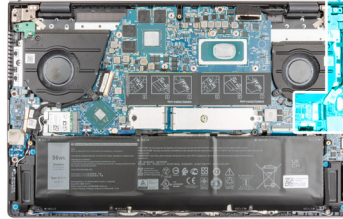
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像は電源アダプターポートの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M2.5x5



手順

1. 電源アダプターポートをケーブルと一緒にパームレストとキーボードアセンブリのスロットにセットします。
2. 電源アダプターポートケーブルを、パームレストとキーボードアセンブリの配線ガイドに沿って配線します。
3. 電源アダプターポートケーブルをシステムボードに固定するテープを貼り付けます。
4. 電源アダプターポートケーブルをシステムボードに接続します。
5. 右のディスプレイヒンジを閉じて、右のディスプレイヒンジにあるネジ穴を、システムボードおよびパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
6. 右のディスプレイヒンジをシステムボードおよびパームレストとキーボードアセンブリに固定する2本のネジ（M2.5x5）を取り付けます。

次の手順

1. ヒートシンクを取り付けます。
2. ベースカバーを取り付けます。
3. サービスモードを終了します。
4. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システムボード

システムボードの取り外し

前提条件

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
 - ① **メモ:** システムボードには、コンピューターのサービスタグが保存されています。システムボードを取り付けた後、BIOSセットアッププログラムでこのサービスタグを入力する必要があります。
 - ① **メモ:** システムボードを取り付けると、BIOSセットアッププログラムを使用してBIOSに行った変更がすべて削除されます。システムボードを取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。
 - ① **メモ:** システムボードからケーブルを外す前に、各コネクターの位置をメモしておき、システムボードの取り付け後に正しく元の場所に戻すことができるようにしてください。
2. ベースカバーを取り外します。

3. バッテリーを取り外します。
4. メモリー モジュールを取り外します。
5. M.2 2280 ソリッドステート ドライブまたは M.2 2230 ソリッドステート ドライブのいずれか該当する方を M.2 スロット 1 から取り外します。
6. 該当する場合は、M.2 スロット 2 から M.2 2230 ソリッドステート ドライブを取り外します。
7. ワイヤレスカードを取り外します。
8. GPU ファンを取り外します。
9. システム ファンを取り外します。
10. ヒート シンクを取り外します。

このタスクについて

メモ: 他のパーツの取り付け/アクセスのためにシステム ボードを取り外す場合、システム ボードはヒート シンクを取り付けたままで取り外しおよび取り付けできます。そうすることで、手順をシンプルにするとともに、システム ボードとヒートシンクの間のサーマル ボンドを保持できます。

次の画像は、システム ボードのコネクターを示しています。

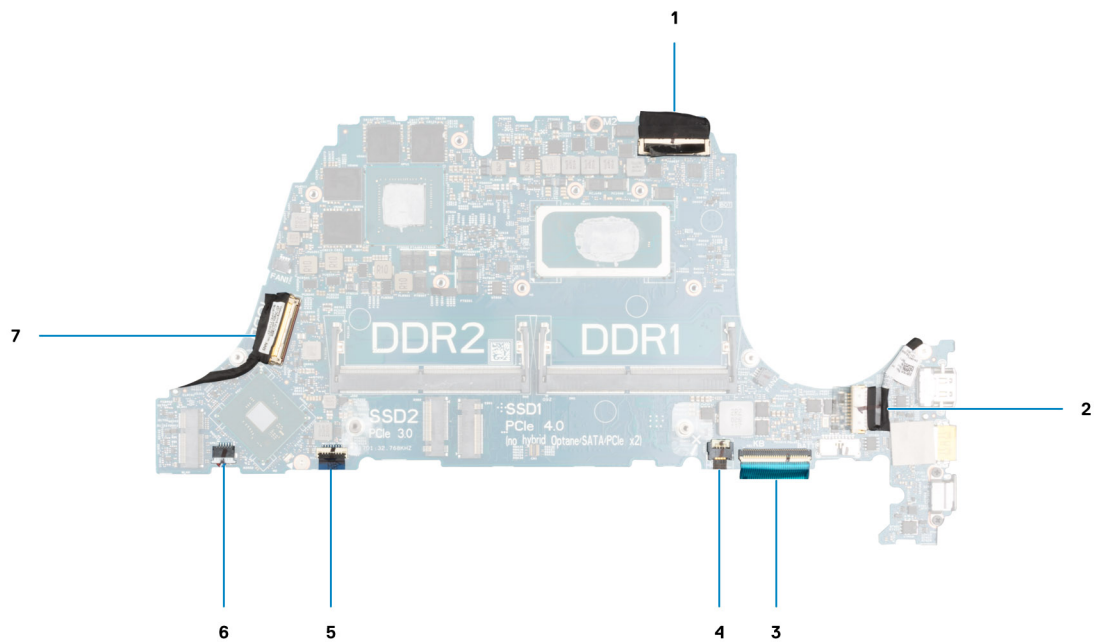
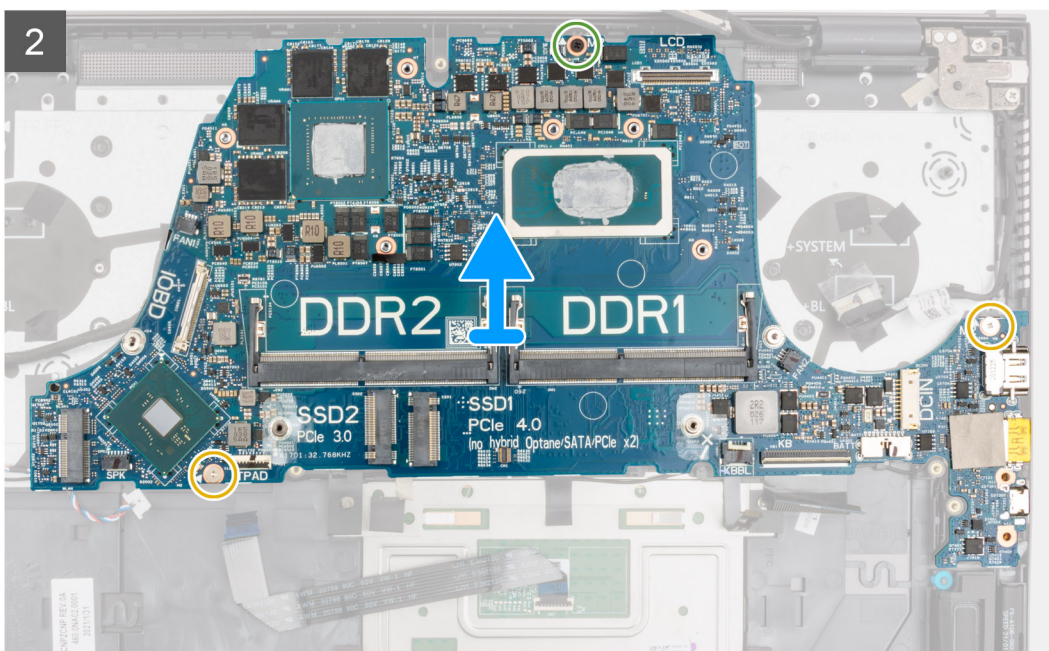
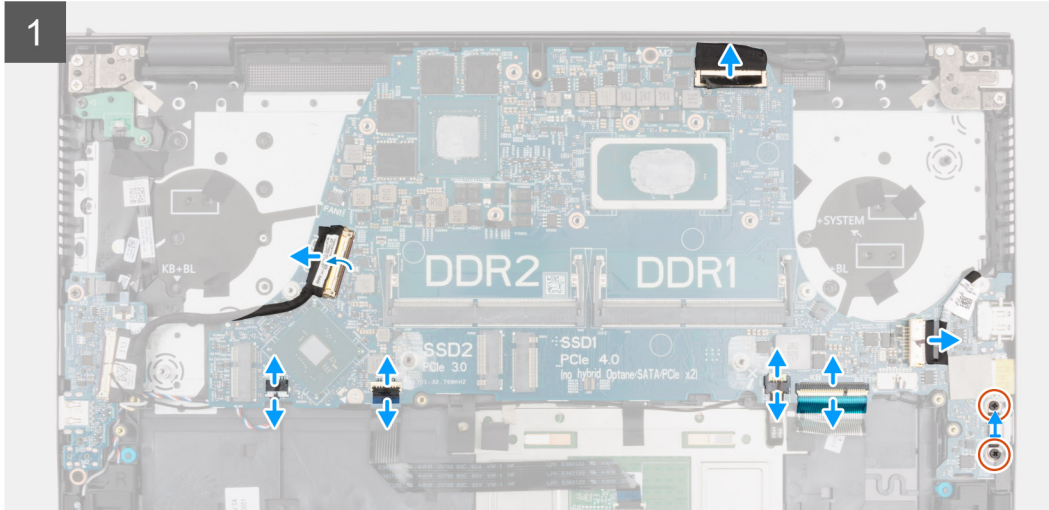
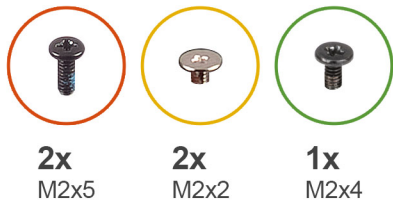


図 1. システム ボードのコネクター

1. モニター ケーブル コネクター
2. 電源アダプター ポート ケーブル コネクター
3. キーボード ケーブル コネクター
4. キーボード バックライト ケーブル コネクター
5. タッチパッド ケーブル コネクター
6. スピーカー ケーブル コネクタ
7. I/O ボード ケーブル コネクタ

次の画像はシステム ボードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. モニター ケーブルをシステム ボードに固定しているテープを剥がします。
2. ラッチを開き、システム ボードからモニター ケーブルを外します。
3. テープをはがして、I/O ボード ケーブルをシステム ボードから外します。
4. スピーカー ケーブルをシステム ボードから外します。
5. ラッチを開き、タッチパッド ケーブルをシステム ボードから外します。
6. ラッチを開き、システム ボードからキーボード バックライト ケーブルを外します。
7. ラッチを開いて、システム ボードからキーボード ケーブルを外します。
8. テープをはがして、システム ボードから電源アダプター ポート ケーブルを外します。

9. USB Type-C ブラケットをシステム ボードに固定している 2 本のネジ (M2x5) を外します。
10. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x2) と 1 本のネジ (M2x4) を外します。
11. システム ボードを持ち上げてパームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

システム ボードの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

- メモ:** 他のパーツの取り付け/アクセスの際に、システム ボードはヒート シンクを取り付けたままで取り付けることができます。そうすることで、手順をシンプルにするとともに、システム ボードとヒートシンク間のサーマル ボンドを保持できます。
- メモ:** システム ボードには、コンピューターのサービス タグが保存されています。システム ボードを取り付けた後、BIOS セットアッププログラムでこのサービス タグを入力する必要があります。
- メモ:** システム ボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムで行った BIOS への変更はすべて削除されます。システム ボードを取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。

次の画像は、システム ボードのコネクタを示しています。

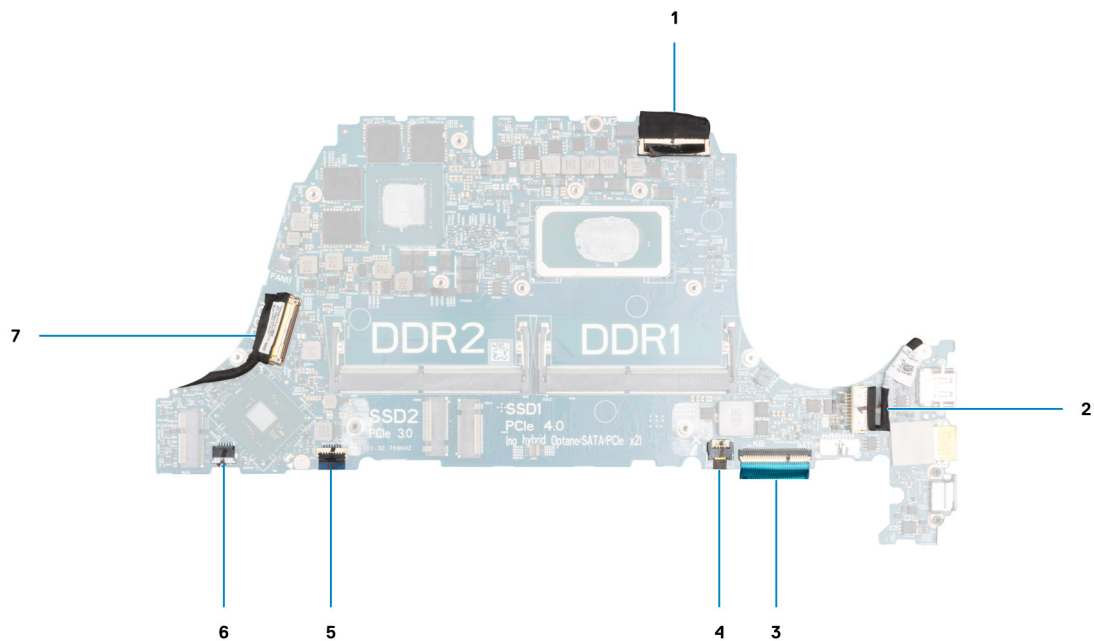
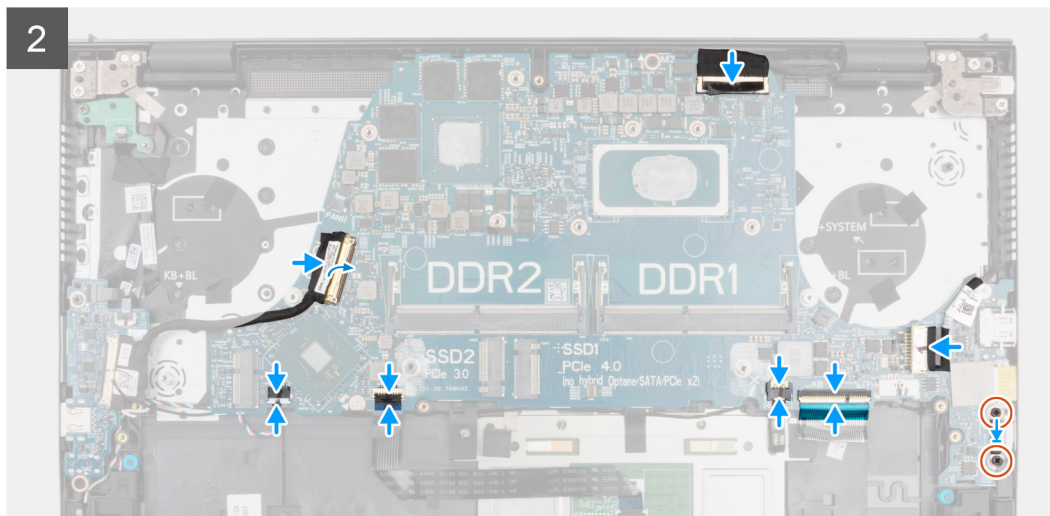
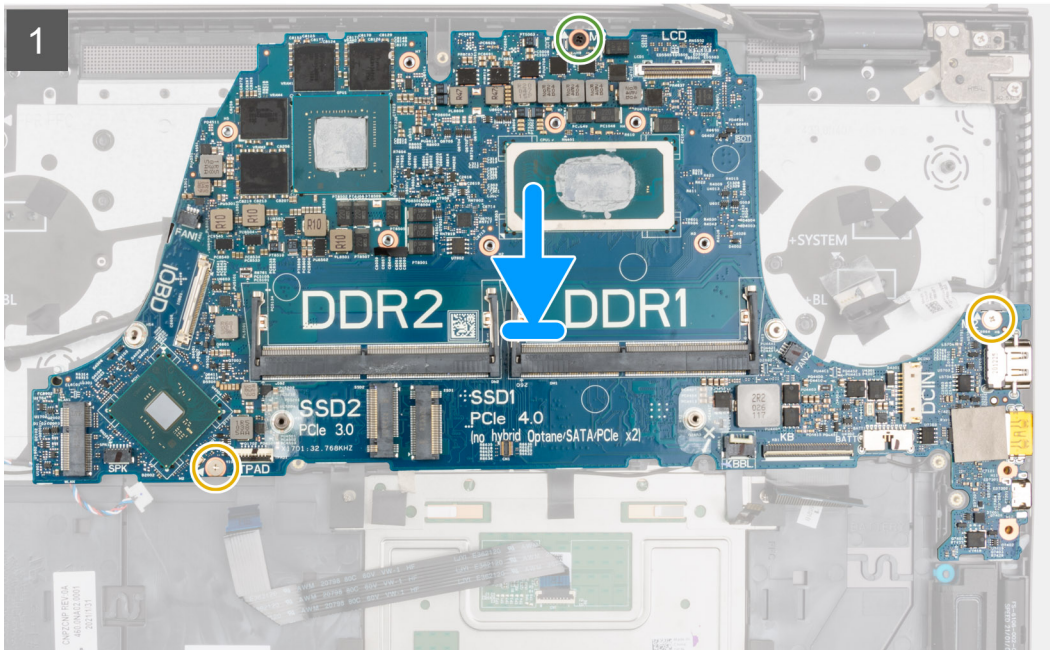
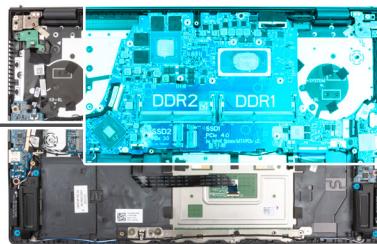
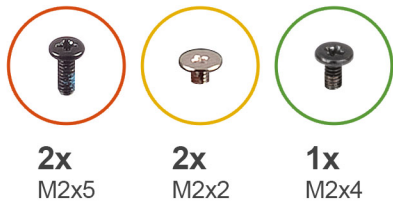


図 2. システム ボードのコネクタ

1. モニター ケーブル コネクタ
2. 電源アダプター ポート ケーブル コネクタ
3. キーボード ケーブル コネクタ
4. キーボード バックライト ケーブル コネクタ
5. タッチパッド ケーブル コネクタ
6. スピーカー ケーブル コネクタ
7. I/O ボード ケーブル コネクタ

以下の画像はシステム ボードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせてセットします。
2. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x2) と 1 本のネジ (M2x4) を取り付けます。
3. モニター ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
4. モニター ケーブルをシステム ボードに固定するテープを貼り付けます。
5. 電源アダプターポートケーブルをシステム ボードに接続します。
6. 電源アダプターポートケーブルをシステム ボードに固定するテープを貼り付けます。
7. USB Type-C ポート ブラケットのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
8. USB Type-C ポート ブラケットをシステム ボードに固定する 2 本のネジ (M2x5) を取り付けます。

9. キーボード ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
10. キーボード バックライト ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
11. タッチパッド ケーブルをシステム ボードに接続し、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
12. システム ボードにスピーカー ケーブルを接続します。
13. I/O ボード ケーブルをシステム ボードに接続します。
14. I/O ボードケーブルをシステム ボードに固定するテープを貼り付けます。


次の手順

1. ヒート シンクを取り付けます。
2. GPU ファンを取り付けます。
3. システム ファンを取り付けます。
4. ワイヤレス カードを取り付けます。
5. M.2 2280 ソリッドステート ドライブまたは M.2 2230 ソリッドステート ドライブのいずれか該当する方を M.2 スロット 1 に取り付けます。
6. 該当する場合は、M.2 2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 に取り付けます。
7. メモリ モジュールを取り付けます。
8. バッテリーを取り付けます。
9. ベース カバーを取り付けます。
10. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

パームレストとキーボード アセンブリー

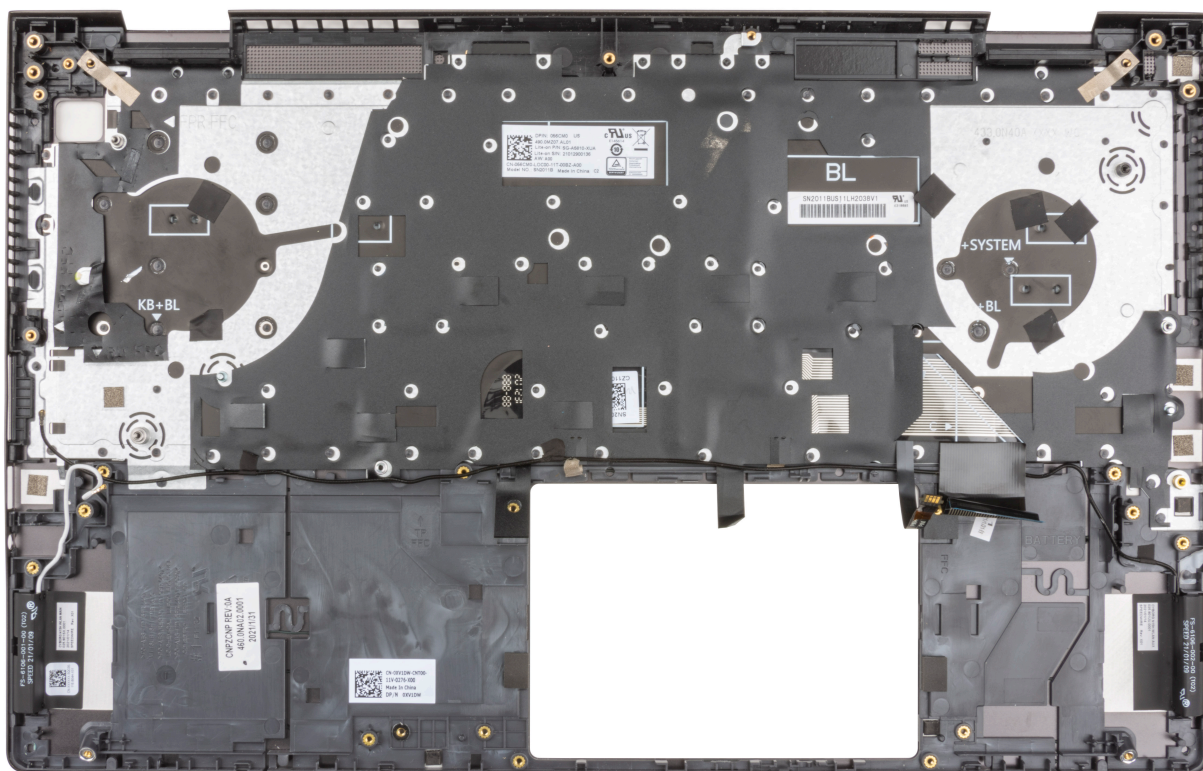
パームレストとキーボード アセンブリーの取り外し

前提条件

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。
3. バッテリーを取り外します。
4. メモリ モジュールを取り外します。
5. M.2 2280 ソリッドステート ドライブまたは M.2 2230 ソリッドステート ドライブのいずれか該当する方を M.2 スロット 1 から取り外します。
6. 該当する場合は、M.2 スロット 2 から M.2 2230 ソリッドステート ドライブを取り外します。
7. ワイヤレス カードを取り外します。
8. GPU ファンを取り外します。
9. システム ファンを取り外します。
10. ヒート シンクを取り外します。
11. I/O ボードを取り外します。
12. システム ボードを取り外します。
 **メモ:** システム ボードは、ヒート シンクと一緒に取り外すことができます。
13. 電源ボタンボードを取り外します。
14. システム構成に応じて、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンを取り外します。
15. システム構成に応じて、指紋認証リーダー内蔵電源ボタンを取り外します。
16. 電源アダプターポートを取り外します。
17. スピーカーを取り外します。
18. タッチパッドを取り外します。
19. ディスプレイ アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

「前提条件」 の手順を実行すると、パームレストとキーボード アセンブリーが残ります。



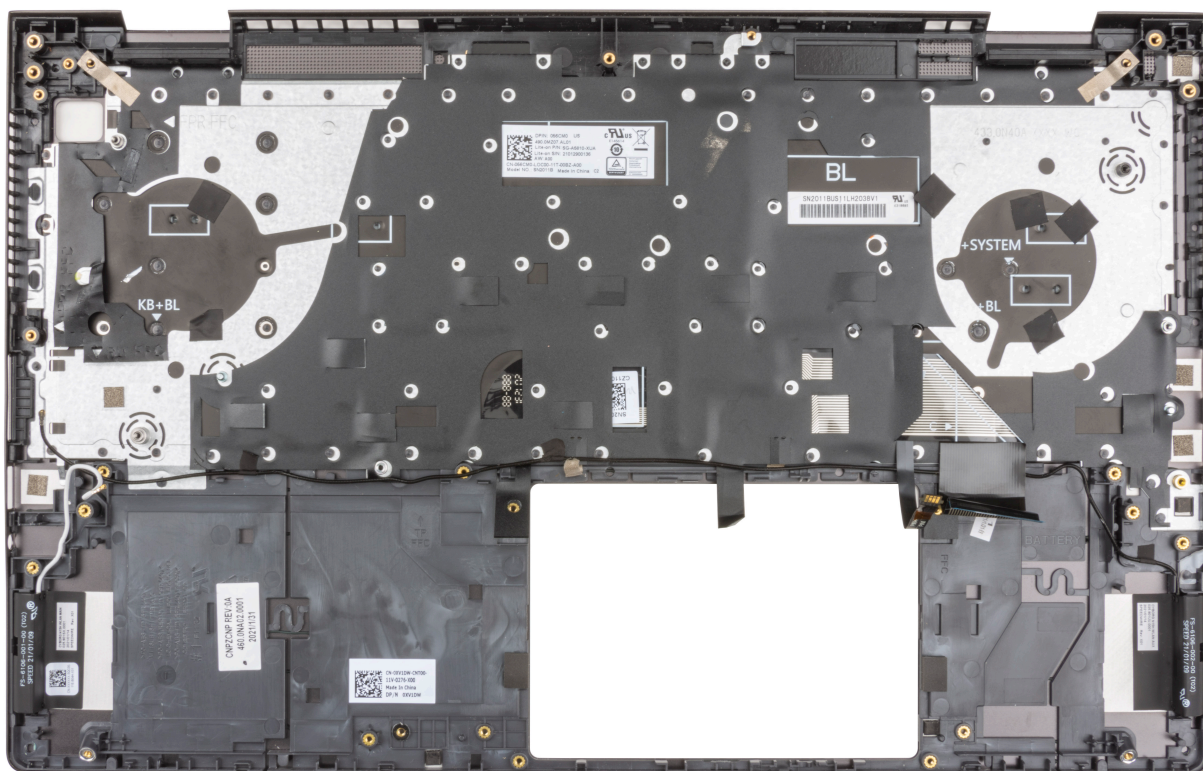
パームレストとキーボード アセンブリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

パームレストとキーボード アセンブリーを平らな面に置きます。



次の手順

1. ディスプレイ アセンブリを取り付けます。
2. タッチパッドを取り付けます。
3. スピーカーを取り付けます。
4. 電源アダプター ポートを取り付けます。
5. システム構成に応じて、指紋認証リーダー内蔵電源ボタンを取り付けます。
6. システム構成に応じて、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタンを取り付けます。
7. 電源ボタン ボードを取り付けます。
8. システム ボードを取り付けます。
① **メモ:** システム ボードは、ヒート シンクと一緒に取り付けることができます。
9. I/O ボードを取り付けます。
10. ヒート シンクを取り付けます。
11. GPU ファンを取り付けます。
12. システム ファンを取り付けます。
13. ワイヤレス カードを取り付けます。
14. M.2 2280 ソリッドステート ドライブまたは M.2 2230 ソリッドステート ドライブのいずれか該当する方を M.2 スロット 1 に取り付けます。
15. 該当する場合は、M.2 2230 ソリッドステート ドライブを M.2 スロット 2 に取り付けます。
16. メモリ モジュールを取り付けます。
17. バッテリーを取り付けます。
18. ベース カバーを取り付けます。
19. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ドライバおよびダウンロード

この章では、サポート対象のオペレーティング システムとドライバーのインストール方法を説明します。

トピック：

- ドライバーのダウンロード

ドライバーのダウンロード

手順

1. PC の電源を入れます。
2. www.dell.com/support にアクセスします。
3. お使いの PC のサービス タグを入力して、[Submit (送信)] をクリックします。
i **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いの PC のモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers & Downloads (ドライバーとダウンロード)] をクリックします。
5. [Detect Drivers (ドライバーの検出)] ボタンをクリックします。
6. [SupportAssist] の利用規約を確認のうえ同意し、[Continue (続ける)] をクリックします。
7. 必要に応じて、お使いの PC が [SupportAssist] のダウンロードとインストールを開始します。
i **メモ:** ブラウザー固有の手順については画面の指示を確認してください。
8. [マイシステムのドライバーを表示する] をクリックします。
9. [Download and Install (ダウンロードとインストール)] をクリックして、お使いの PC 向けに検出されたすべてのドライバーのアップデートをダウンロードしてインストールします。
10. ファイルの保存場所を選択します。
11. [User Account Control (ユーザー アカウント制御)] からの要求があれば、承認してシステムに変更を加えます。
12. アプリケーションが、識別したすべてのドライバーとアップデートをインストールします。
i **メモ:** すべてのファイルが自動的にインストールされるわけではありません。手動インストールが必要かどうか、インストールガイドを参照してください。
13. 手動でダウンロード、インストールする場合は、[Category (カテゴリ)] をクリックします。
14. ドロップダウン リストから、希望するドライバーを選択します。
15. [ダウンロード] をクリックして、お使いの PC 用のドライバーをダウンロードします。
16. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
17. ドライバー ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってドライバーをインストールします。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアッププログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピューターが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアッププログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアッププログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアッププログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハードドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック:

- [BIOS の概要](#)
- [BIOS セットアッププログラムの起動](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ブートシーケンス](#)
- [システム セットアップのオプション](#)
- [高度な設定またはエンジニアリング設定](#)
- [SupportAssist システムの解決策](#)
- [Windows での BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

BIOS の概要

BIOS はコンピューターのオペレーティングシステムとハードディスク、ビデオアダプタ、キーボード、マウス、プリンタなどの取り付けられているデバイス間のデータフローを管理します。

BIOS セットアッププログラムの起動

このタスクについて

コンピューターの電源を入れて（または再起動して）、すぐに F2 を押します。

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。

キー ナビゲーション

<Esc> メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：光学ドライブまたはハードドライブ）から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト（POST）中に Dell のロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- Windows ブートマネージャー
- UEFI HTTPS 起動
- UEFI RST BC711 NVMe SK hynix 256 GB N09Q72861010904Z

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

システム セットアップのオプション


 **メモ:** PC および取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。

表 3. システム セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー

概要	
BIOS バージョン	BIOS のバージョン番号を表示します。
サービス タグ	PC のサービス タグを表示します
Asset Tag	PC の Asset Tag を表示します。
所有権タグ	PC の所有者タグを表示します。
製造日	PC の製造日を表示します。
購入日	PC の購入日を表示します。
エクスプレス サービス コード	PC のエクスプレス サービス コードを表示します。
所有権タグ	PC の所有者タグを表示します。
署名されたファームウェア アップデート	署名されたファームウェア アップデートが有効かどうかが表示されます。
[バッテリー]	バッテリーの状態に関する情報を表示します。
プライマリ (システム) パスワード	プライマリ バッテリーが表示されます。
バッテリー レベル	バッテリー レベルが表示されます。
バッテリー状態	バッテリー状態が表示されます。
正常性	バッテリーの状態を表示します。
AC アダプター	AC アダプターが取り付けられているかが表示されます。
[プロセッサ情報]	
プロセッサの種類	プロセッサの種類を表示します。
最大クロック スピード	プロセッサの最高クロック スピードを表示します。
コア数	プロセッサのコアの数を表示します。
Processor L2 のキャッシュ	プロセッサの L2 キャッシュ サイズを表示します。
プロセッサ ID	プロセッサの識別コードを表示します。

表 3. システム セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー (続き)

概要	
Processor L3 のキャッシュ	プロセッサの L3 キャッシュ サイズを表示します。
現在のクロック スピード	プロセッサの現在のクロック スピードを表示します。
最小クロック スピード	プロセッサの最低クロック スピードを表示します。
マイクロコードのバージョン	マイクロコードバージョンを表示します。
インテル ハイパースレッディング対応	プロセッサがハイパースレッディング (HT) に対応しているかどうかを表示します。
64 ビット テクノロジー	64 ビットテクノロジーが使用されているかどうかを表示します。
[メモリー情報]	
インストールされたメモリー	インストールされている PC メモリーの合計を表示します。
使用可能なメモリー	使用可能な PC メモリーの合計を表示します。
メモリー速度	メモリー スピードを表示します。
メモリー チャンネル モード	シングルまたはデュアル チャンネルモードを表示します。
メモリー テクノロジー	メモリーに使用されているテクノロジーを表示します。
DIMM_SLOT 1	1 番目の DIMM スロットに取り付けられているメモリーの容量を表示します。
DIMM_SLOT 2	2 番目の DIMM スロットに取り付けられているメモリーの容量を表示します。
[デバイス情報]	
パネルのタイプ	PC のパネルのタイプを表示します。
ビデオ コントローラー	PC のグラフィックス情報を表示します。
ビデオ メモリー	PC のビデオメモリー情報を表示します。
ビデオ BIOS バージョン	PC のビデオ BIOS のバージョンを表示します。
ネイティブ解像度	ネイティブ解像度
オーディオ コントローラー	オーディオ コントローラー
Wi-Fi デバイス	Wi-Fi デバイス
Bluetooth デバイス	Bluetooth デバイス
dGPU ビデオ コントローラー	PC で使用されている専用グラフィック カードを表示します

表 4. システム セットアップ オプション : 起動設定メニュー

起動オプション	
[ブート シーケンス]	
起動モード : UEFI のみ	この PC の起動モードを表示します。
ブート シーケンス	ブート シーケンスを表示します。
[セキュア ブート]	
セキュア ブートを有効にする	システムが検証済みの起動ソフトウェアのみを使用して起動するようにします。
セキュア ブート モード	セキュア ブート操作モードを変更すると、セキュア ブートの作動が変更され、UEFI ドライバー署名の評価ができるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 導入モード : デフォルトでオン ● 監査モード : デフォルトでオフ
[エキスパートキー管理]	
カスタムモードを有効にする	PK、KEK、db、dbx のセキュリティキー データベースの操作を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
カスタム モード キー管理	デフォルト : PK。

表 4. システム セットアップ オプション : 起動設定メニュー (続き)

起動オプション	
[詳細起動オプション]	
UEFI ネットワーク スタックを有効にする	UEFI ネットワーク スタックを有効または無効にします。 デフォルト : PK

表 5. システム セットアップのオプション : 内蔵デバイス メニュー

システム設定	
[HDD ファン]	システムに装着されている HDD ファンを設定します。
[日付/時刻]	
日付	PC の日付を MM/DD/YYYY 形式で設定します。日付の変更はすぐに反映されます。
時刻	PC の時間を HH/MM/SS の 24 時間形式で設定します。12 時間クロックと 24 時間クロックを切り替えることができます。時間の変更はすぐに反映されます。
[カメラ]	カメラを有効または無効にします
カメラの有効化	デフォルト : ON (オン)
[Enable Audio (オーディオを有効にする)]	すべての組み込み型オーディオ コントローラーを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする)]	マイクロフォンを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)]	内蔵スピーカーを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[USB/Thunderbolt の構成]	
Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする)	オペレーティング システム環境で機能する USB ポートを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)	外部ハードドライブ、光学ドライブ、USB ドライブのような USB 大容量ストレージ デバイスからの起動を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[Thunderbolt の起動サポートを有効にする]	起動前の Thunderbolt 機能を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
[Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) の起動前モジュールを有効にする]	Thunderbolt アダプターを使用して接続されている PCIe デバイスによる PCIe デバイス UEFI オプション ROM の起動前の作動を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Type-C ポートをビデオ/給電のみにする	Type-C ポート機能がビデオまたは給電のみに制限されます。 デフォルト : OFF (オフ)
[SATA の動作]	内蔵 SATA ハードドライブ コントローラーの動作モードを設定します。 デフォルト : RAID。SATA は RAID (インテル Rapid Restore テクノロジー) をサポートするように設定されています。
[Drives]	各種オンボードドライブを有効または無効にします。
M.2 PCIe SSD-0/SATA-2	デフォルト : ON (オン)
SATA-0	デフォルト : ON (オン)
ドライブ情報	各種オンボードドライブの情報を表示します。

表 6. システム セットアップのオプション : ストレージ メニュー

ストレージ	
[ストレージ インターフェイス]	
ポートの有効化	オンボード ドライブを有効または無効にします デフォルト : ON (オン)
[SMART レポート]	
Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)	システムの S.M.A.R.T (自己監視、分析、レポートテクノロジー) オプションを有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
[ドライブ情報]	
M.2 PCIe SSD-1	PC のタイプおよびデバイスに関する情報を提供します。

表 7. システム セットアップのオプション : ディスプレイ メニュー

ストレージ	
[ディスプレイの明るさ]	
バッテリー電源での明るさ	PC がバッテリー電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。
AC 電源での明るさ	PC が AC 電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。
[フルスクリーン ロゴ]	イメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーン ロゴを表示します。 デフォルト : OFF (オフ)

表 8. システム セットアップのオプション : 接続メニュー

接続	
[ワイヤレス デバイスを有効にする]	内蔵 WLAN/Bluetooth デバイスを有効または無効にします。
WLAN	デフォルト : ON (オン)
Bluetooth	デフォルト : ON (オン)
[UEFI ネットワーク スタックを有効にする]	Pre-OS および初期 OS のネットワーキング機能で、有効化されたあらゆる NIC を使用できるようにします。これは、PXE の電源を入れなくても使用できる場合があります。 デフォルト : 選択可能です。
[HTTP (s) Boot 機能]	
HTTP (s) Boot	このプラットフォームは、HTTP (s) Boot 機能を備えています。 デフォルト : ON (オン)
	① メモ: HTTPS Boot サーバーに接続するには、証明書のプロビジョニングが必要です。

表 9. システム セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー

電源管理	
[バッテリー設定]	ピーク電力消費時間中に、PC をバッテリーで動作させることができます。以下のオプションを使用して、各日の特定の時間帯での AC 電源の使用を防止します。 デフォルト : Adaptive (適応) バッテリーの設定は、標準のバッテリー使用パターンに基づいて、順応的に最適化されます。
[高度なバッテリー充電設定を有効にする]	その日の始まりから指定した作業時間までの高度なバッテリー充電設定を有効にします。高度なバッテリー充電では、日中の頻繁な使用をサポートしつつバッテリーの正常性を最大限にします。 デフォルト : OFF (オフ)

表 9. システム セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー (続き)

電源管理	
[Enable Peak Shift (ピークシフトを有効にする)]	ピーク電力消費時間中に、システムをバッテリーで作動させることができます。 デフォルト：OFF (オフ)
[温度管理]	冷却ファンおよびプロセッサの熱管理を有効にして、システムのパフォーマンス、ノイズ、および温度を調整します。 デフォルト：最適化。
[Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)]	USB デバイスで PC をスタンバイ モード、休止状態、電源オフ状態からウェイクできるようにします。 デフォルト：OFF (オフ)
[Dell USB-C ドッキング ステーションで有効]	Dell USB-C ドッキング ステーションを接続すると、PC をスタンバイ モード、休止状態、電源オフ状態からウェイクさせることができます。 デフォルト：ON (オン)
[ブロック スリープ]	PC がオペレーティング システムでスリープ (S3) モードに入るのをブロックします。 デフォルト：OFF (オフ) ①メモ: 有効にした場合、PC はスリープにはならず、インテル Rapid Start は自動的に無効になり、オペレーティング システムの電源オプションは、スリープに設定されていた場合は空白になります。
[Lid スイッチ]	
Lid スイッチを有効にする	Lid スイッチを有効または無効にします。 デフォルト：ON (オン)
Lid オープン パワー オン機能	蓋を開けるたびに、PC をオフ状態から電源投入することができます。 デフォルト：ON (オン)
[インテル Speed Shift テクノロジー]	オペレーティング システムが適切なプロセッサ パフォーマンスを自動的に選択できるようにするインテル Speed Shift テクノロジー サポートを有効または無効にします。 デフォルト：ON (オン)

表 10. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー

セキュリティ	
[TPM 2.0 セキュリティ]	
TPM 2.0 セキュリティ オン	TPM 2.0 セキュリティ オプションを有効または無効にします。 デフォルトでは、[TPM 2.0 セキュリティ オン] オプションは有効になっています。
Attestation Enable (アテステーションを有効にする)	Trusted Platform Module (TPM) エンドースメント階層をオペレーティング システムで使用できるかどうかを制御できます。 デフォルトでは、[アテステーションを有効にする] オプションは有効になっています。
キー ストレージを有効にする	Trusted Platform Module (TPM) ストレージ階層をオペレーティング システムで使用できるかどうかを制御できます。 デフォルトでは、[キー ストレージを有効にする] オプションは有効になっています。
SHA-256	BIOS の起動中に、BIOS と TPM が SHA-256 ハッシュ アルゴリズムを使用して、測定を TPM PCR に拡張します。 デフォルトでは、[SHA-256] オプションは有効になっています。
Clear (クリア)	TPM 所有者情報のクリアを実行して、TPM をデフォルトの状態に戻すことができます。 デフォルトでは、[クリア] オプションは無効になっています。
クリア コマンドの PPI をスキップ	TPM Physical Presence Interface (PPI) を制御します。

表 10. システム セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー (続き)

セキュリティ	
[SMM セキュリティの緩和]	デフォルトでは、[クリア コマンドの PPI をスキップ] オプションは無効になっています。 SMM Security Mitigation を有効または無効にします。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
[次回起動時にデータを消去] データ消去の開始	次回起動時のデータ消去を有効または無効にします。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
Absolute	オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効、無効、または恒久的に無効にします。 デフォルトでは、[Absolute を有効にする] オプションが有効になっています。
UEFI 起動パス セキュリティ	F12 起動メニューから UEFI 起動パス デバイスを起動する際に、PC がユーザーに管理者パスワード (設定されている場合) を入力するように求めるかどうかを制御します。 デフォルトでは、[常に内蔵 HDD を除く] オプションは有効になっています。

表 11. システム セットアップ オプション — パスワードメニュー

パスワード	
[管理者パスワード]	管理者パスワードを設定、変更、または削除します。
[システム パスワード]	PC のパスワードを設定、変更、または削除します。
[M.2 PCIe SSD-1]	M.2 PCIe SSD-1 のパスワードを設定、変更、または削除します。
[パスワードの設定]	
大文字	少なくとも 1 個の大文字を含めるように要求してパスワードを強化します。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
小文字	少なくとも 1 個の小文字を含めるように要求してパスワードを強化します。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
桁	少なくとも 1 個の数字を含めるように要求してパスワードを強化します。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
特殊文字	少なくとも 1 個の特殊文字を含めるように要求してパスワードを強化します。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
最小文字数	パスワードに使用できる最小文字数を設定します：最小値は [4] です。
パスワードのスキップ	有効になっている場合は、電源オフの状態では電源を入れると、PC のパスワードと内蔵ハードドライブのパスワードのプロンプトが常に表示されます。 デフォルトでは、[無効] オプションが有効になっています。
[パスワードの変更]	
管理者ではないパスワードによる変更を有効にする	管理者パスワードの必要なしで、PC のパスワードとハードドライブのパスワードの変更を有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[管理者設定のロック]	
Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)	管理者は、ユーザーが BIOS セットアップにアクセスをできるかどうかを制御できます。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
[マスター パスワードのロック]	
マスター パスワードのロックアウトを有効にする	有効の場合、マスター パスワードのサポートが無効になります。

表 11. システム セットアップ オプション — パスワードメニュー (続き)

パスワード	
	デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
[管理者以外による PSID 復元の許可]	
管理者以外による PSID 復元の許可を有効にする	Dell Security Manager プロンプトからの、NVMe ハードドライブの物理セキュリティ ID (PSID) の復元へのアクセスを制御します。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。

表 12. システム セットアップ オプション : アップデートメニュー、リカバリーメニュー

アップデート、リカバリー	
[UEFI カプセル ファームウェア アップデート]	UEFI カプセルアップデートパッケージで BIOS アップデートを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[ハードドライブからの BIOS リカバリー]	ユーザーは、ユーザーのプライマリ ハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから、特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[BIOS のダウングレード]	
Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)	ブロックをされている以前のバージョンへ PC ファームウェアのフラッシュを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[SupportAssist OS リカバリー]	特定の PC エラー発生時の SupportAssist OS Recovery ツールの起動フローを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
BIOSConnect	メインのオペレーティング システムが、Auto OS Recovery のしきい値設定オプションで指定された値以上に起動に失敗した場合と、ローカル サービスの OS が起動しないかインストールをされていない場合のクラウド サービスの OS リカバリーを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
Dell 自動 OS リカバリーのしきい値	SupportAssist システム解決策コンソール、Dell Auto OS Recovery ツールの自動起動フローを制御します。 しきい値はデフォルトで 2 に設定されています。

表 13. システム セットアップのオプション : システム管理メニュー

システム管理	
[サービス タグ]	Pc のサービス タグを表示します
[Asset Tag]	PC の Asset Tag を作成します。
[AC 動作]	
Wake on AC (ウェイクオン AC)	[ウェイク オン AC] オプションを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[自動電源オン時刻]	毎日または事前に選択した日付および時刻に自動的に電源をオンにするように PC を設定できます。Auto on Time が毎日、平日、または選択した日に設定されている場合のみ、このオプションを設定できます。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。
[最初の電源投入日]	購入日を設定できます。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。

表 14. システム セットアップのオプション : キーボード メニュー

キーボード	
[有効な Numlock]	PC の起動時の Numlock 機能を有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[Fn ロック オプション] ロック モード	デフォルトでは、[Fn ロック] オプションは有効になっています。 <ul style="list-style-type: none"> • Lock Mode Standard : F1~F12 の従来の機能 • Lock Mode Secondary : Fn キーの補助機能を有効にします。
Keyboard illumination	キーボードのライト設定を設定することができます。 デフォルトでは、[明るい] オプションが有効になっています。
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC での キーボードバックライトのタイムアウト)	AC アダプターがシステムに接続されているときの、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定します。 デフォルトでは、[1 分] というオプションが有効になっています。
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッ テリーでのキーボード バックライトのタイムアウト)	システムをシステム電源のみで実行しているときの、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定できます。 デフォルトでは、[1 分] というオプションが有効になっています。

表 15. システム セットアップのオプション : 起動前の作動メニュー

起動前作動	
[アダプターの警告] アダプターの警告を有効にする	電源容量の少ないアダプターが検出されたときの起動中の警告メッセージを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[警告とエラー]	警告またはエラーが発生した場合に実行するアクションを有効または無効にします。 デフォルトでは、[警告とエラー時のプロンプト] オプションは有効になっています。
[USB-C の警告]	ドッキング ステーションの警告メッセージを有効または無効にします。 デフォルトでは、[ドッキング ステーション警告メッセージの有効化] オプションは有効になっています。
[ファストブート]	起動プロセスのスピードを設定できます。 デフォルトでは、[完全] オプションが有効になっています。
[BIOS POST 時間の延長]	BIOS の POST 時間を設定します。 デフォルトでは、[0 秒] オプションが有効になっています。

表 16. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー

仮想化	
[インテル® バーチャライゼーション・テクノロジー] インテル仮想化テクノロジー (VT) を有効にする	インテル バーチャライゼーション・テクノロジーによって提供される追加のハードウェア機能を、Virtual Machine Monitor (VMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[Direct I/O 用 VT]	ダイレクト I/O 用インテル バーチャライゼーション・テクノロジーによって提供される追加のハードウェア機能を、Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。 このオプションはデフォルトで有効になっています。

表 17. システム セットアップ オプション — パフォーマンス メニュー

パフォーマンス	
[マルチ コア サポート] アクティブなコア	オペレーティング システムで使用可能な CPU コアの数を変更できます。 デフォルトでは、[すべてのコア] オプションが有効になっています。
[インテル SpeedStep] インテル SpeedStep テクノロジーを有効にする	PC でプロセッサの電圧とコア周波数を動的に調整し、平均電力消費量と発熱量を削減できます。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[C ステータス コントロール] C-State の制御を有効にする	追加のプロセッサのスリープ状態を有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[専用グラフィックスの適合 C-State を有効にする]	適合 C-State を使用すると、システムは専用グラフィックスの高使用率を動的に検出し、その期間中のシステム パラメータを調整することができます。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[インテル ターボブーストテクノロジー] インテル ターボ ブースト テクノロジーを有効にする	プロセッサの インテル TurboBoost モードを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[インテル® ハイパースレッディング・テクノロジー] インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーを有効にする	プロセッサのハイパースレッディングを有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで有効になっています。
[ダイナミック チューニングの有効化：機械学習]	OS 機能を有効または無効にして、検出されたワークロードに基づいてダイナミック パワー チューニング機能を強化します。 デフォルトでは、このオプションは無効になっています。

表 18. システム セットアップユーティリティのオプション — システムログメニュー

システムログ	
[BIOS イベント ログ] Bios イベント ログをクリアする	BIOS イベントを表示します。 デフォルトでは、[ログを記録する] オプションは有効になっています。
[温度イベント ログ] 温度イベント ログをクリアする	サーマルイベントを表示します。 デフォルトでは、[ログを記録する] オプションは有効になっています。
[電源イベント ログ] 電源イベント ログの消去	電源イベントを表示します。 デフォルトでは、[ログを記録する] オプションは有効になっています。
[ライセンス情報]	PC のライセンス情報を表示します。

高度な設定またはエンジニアリング設定

表 19. 高度な設定またはエンジニアリング設定

オプション	説明
ASPM	<ul style="list-style-type: none">• [自動] : デフォルト• [L1 Only]• [無効]• [L0 および L1]• [L0 のみ]
Pcie LinkSpeed	<ul style="list-style-type: none">• [自動] : デフォルト• [Gen 1]• [Gen 2]• [Gen 3]

SupportAssist システムの解決策

表 20. SupportAssist システムの解決策

オプション	説明
自動 OS リカバリーのしきい値	[Auto OS Recovery Threshold] セットアップ オプションでは、SupportAssist システム解決策コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動起動フローを制御します。 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [オフ]• [1]• [2] - デフォルト• [3]
SupportAssist OS リカバリー	SupportAssist OS リカバリーを復元できます (デフォルトでは無効)。

Windows での BIOS のアップデート

前提条件

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (システム セットアップ) をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。


このタスクについて

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。


注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要となったりする可能性があります。このトピックの詳細については、ナレッジ ベース記事 <https://www.dell.com/support/kbdoc/000134415/> を参照してください。

手順

1. PC を再起動します。
2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。
 - [Detect Product] をクリックして、画面に表示される指示に従います。

3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[Choose from all products] をクリックします。
4. リストから [Products] カテゴリを選択します。
 **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
 [Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [Find it myself] をクリックします。
8. [BIOS] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
 [ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。
12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
 画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[[BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート \(英語\)](#)]

USB フラッシュドライブを使用した BIOS のアップデート

このタスクについて

システムが Windows をロードできず、BIOS をアップデートする必要がある場合は、他のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、起動可能な USB フラッシュドライブに保存します。

手順


1. BIOS アップデートの .EXE ファイルを他のシステムにダウンロードします。
2. このファイル (例 : O9010A12.exe) を起動可能な USB フラッシュドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートが必要なシステムに、この USB フラッシュドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、Dell のロゴが表示されたら <F12> を押して起動メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、USB ストレージデバイスを選択して <Return> を押します。
6. システムが起動し、Diag C:\> プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (例 : O9010A12.exe) を入力してファイル実行し、<Return> キーを押します。
8. BIOS アップデートユーティリティがロードされるので、画面の指示に従います。


システムパスワードおよびセットアップパスワード


表 21. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

 **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

手順

- [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。
- [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、()、(+)、(.)、(-)、(/)、(:)、({ })、(\)、(|)、(')。
- [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更


前提条件

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が（システム セットアップで）ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

手順

- [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
- [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
- [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
- [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。
システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
- Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

トラブルシューティング

トピック：

- 膨張した充電式リチウムイオン バッテリーの取り扱い
- Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断
- システム診断ライト
- オペレーティング システムのリカバリ
- リアルタイム クロック (RTC リセット)
- Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート
- Windows での BIOS のアップデート
- バックアップ メディアとリカバリー オプション
- Wi-Fi パワー サイクル
- 待機電力の放出

膨張した充電式リチウムイオン バッテリーの取り扱い

多くのノートパソコンと同様に、Dell ノートパソコンでもリチウムイオン バッテリーが使用されています。リチウムイオン バッテリーの種類の 1 つに、充電式リチウムイオン バッテリーがあります。お客様がスリム フォーム ファクター（特に最新の超薄型ノートパソコン）や長バッテリー持続時間を望んでいることから、充電式リチウムイオン ポリマー バッテリーの人気の近年高まっており、これがエレクトロニクス業界で標準となりました。充電式リチウムイオン バッテリーのテクノロジー特有の問題として、バッテリー セルが膨張する可能性が上げられます。

膨張したバッテリーは、ノートパソコンのパフォーマンスに影響する場合があります。誤作動につながるデバイス エンクロージャまたは内部コンポーネントへのさらなる損傷を防ぐには、ノートパソコンの使用を中止し、AC アダプターを取り外してバッテリーを放電させてください。

膨張したバッテリーは絶対に使用せず、適切に交換および廃棄してください。該当する保証またはサービス契約の条件のもとで膨張したバッテリーを交換するオプションについては、Dell 製品サポートに問い合わせることを推奨します。これには、デルの認定サービス技術者による交換オプションも含まれます。

充電式リチウムイオン バッテリーの取り扱いと交換のガイドラインは次のとおりです。

- 充電式リチウムイオン バッテリーを取り扱う際は、十分に注意してください。
- システムから取り外す前に、バッテリーを放電します。バッテリーを放電するには、システムから AC アダプターを取り外し、バッテリー電源のみでシステムを動作させます。電源ボタンを押してもシステムの電源が入らなくなると、バッテリーが完全に放電されたことになります。
- バッテリーを破壊したり、落としたり、損傷させたり、バッテリーに異物を侵入させたりしないでください。
- バッテリーを高温にさらしたり、バッテリーパックまたはセルを分解したりしないでください。
- バッテリーの表面に圧力をかけないでください。
- バッテリーを曲げないでください。
- 任意のツールを使用してバッテリーをこじ開けないでください。
- 膨張によってバッテリーがデバイス内で詰まってしまう場合、穴を開けたり、曲げたり、押しつぶしたりすると危険なため、無理に取り出そうとしないでください。
- 破損したバッテリーまたは膨張したバッテリーを、ノートパソコンに再度組み立てないでください。
- 保証対象の膨張したバッテリーは、承認された配送コンテナ（Dell が提供）で Dell に返却する必要があります。これは輸送規制に準拠しています。保証対象外の膨張したバッテリーは、承認されたリサイクル センターで処分する必要があります。サポートおよび詳細な手順については、Dell 製品サポート (<https://www.dell.com/support>) にお問い合わせください。
- 非 Dell 製品や互換性のないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性が高くなります。バッテリーを交換する場合は、Dell コンピューターで動作するように設計されている、デルから購入した互換性のあるバッテリーのみ使用してください。お使いのコンピューターに別のコンピューターのバッテリーを使用しないでください。必ず純正バッテリーを <https://www.dell.com> から、またはデルから直接購入してください。

充電式リチウムイオン バッテリーは、使用年数、充電回数、高温への露出などのさまざまな理由により、膨張する可能性があります。ノートパソコンバッテリーのパフォーマンスと寿命の改善方法、問題発生の可能性を最小限に抑える方法の詳細については、www.dell.com/support のナレッジベースリソースで「Dell ノートパソコン バッテリー」を検索してください。

Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断

このタスクについて

SupportAssist 診断（システム診断とも呼ばれる）ではハードウェアの完全なチェックを実行します。Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスまたはデバイスグループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

メモ: 特定のデバイスについては、ユーザーによる操作が必要なテストもあります。診断テストを実行する際は、コンピューター端末の前に必ずいるようにしてください。

詳細については、<https://www.dell.com/support/kbdoc/000180971> を参照してください。

SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェックの実行

手順

1. PC の電源を入れます。
2. PC が起動し、Dell のロゴが表示されたら F12 キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、[診断] オプションを選択します。
4. 左下隅の矢印をクリックします。
診断プログラムのフロントページが表示されます。
5. 右下隅にある矢印をクリックして、ページリストに移動します。
検出されたアイテムが一覧表示されます。
6. 特定のデバイスで診断テストを実行するには、Esc を押して [はい] をクリックし、診断テストを中止します。
7. 左のパネルからデバイスを選択し、[テストの実行] をクリックします。
8. 何か問題がある場合は、エラーコードが表示されます。
エラーコードと検証番号をメモして、デルにお問い合わせください。

システム診断ライト

バッテリーステータスライト

電源およびバッテリー充電ステータスを示します。

ソリッド ホワイト: 電源アダプターが接続され、バッテリーの充電量は 5% 以上です。

橙色 — コンピューターがバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量は 5% 未満です。

消灯

- 電源アダプターが接続されバッテリーがフル充電されています。
- PC がバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量が 5% 以上です。
- PC がスリープ状態、休止状態、または電源オフです。

電源およびバッテリーステータスライトが障害を示すビープコードと合わせて橙色に点滅します。

例えば、電源およびバッテリーステータスライトが、橙色に 2 回点滅して停止し、次に白色に 3 回点滅して停止します。この 2,3 のパターンは、PC の電源が切れるまで続き、メモリーまたは RAM が検出されないことを示しています。

次の表には、さまざまな電源およびバッテリーステータスライトのパターンと関連する問題が記載されています。

点滅パターン		問題の説明	推奨される処置
1	1	TPM 検出エラー	システム ボードを取り付けます。
1	2	回復不可能な SPI フラッシュ障害です	システム ボードを取り付けます。
1	3	OCP1トリップされたヒンジ ケーブルの不足	モニター ケーブル (EDP) が適切に取り付けられているか、またはヒンジに挟まれているかを確認します。問題が解決しない場合は、モニター ケーブル (EDP) とディスプレイ アセンブリー (LCD) のいずれかを交換します。
1	4	OCP2トリップされたヒンジ ケーブルの不足	モニター ケーブル (EDP) が適切に取り付けられているか、またはヒンジに挟まれているかを確認します。問題が解決しない場合は、モニター ケーブル (EDP) とディスプレイ アセンブリー (LCD) のいずれかを交換します。
1	5	EC が i-Fuse をプログラムできない	システム ボードを取り付けます。
1	6	異常な EC コード フロー エラーに対する一般的なキャッチオール	すべての電源 (AC、バッテリー、コイン型) を外し、電源ボタンを押したままにして、待機電力を逃がします。
2	1	プロセッサの不具合	インテル CPU 診断ツールを実行します。問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	2	システム ボードの障害 (BIOS の破損または ROM エラーを含む) です	BIOS の最新バージョンをフラッシュします。問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
2	3	メモリー/RAM が検出されない	メモリー モジュールが正しく取り付けられていることを確認します。問題が解決しない場合は、メモリー モジュールを交換します。
2	4	メモリー/RAM の障害	スロット間でメモリー モジュールをリセットしてスワップします。問題が解決しない場合は、メモリー モジュールを交換します。
2	5	無効なメモリーが取り付けられています	スロット間でメモリー モジュールをリセットしてスワップします。問題が解決しない場合は、メモリー モジュールを交換します。
2	6	システム ボード/チップセットのエラー	システム ボードを取り付けます。
2	7	LCD の障害 (SBIOS メッセージ)	LCD コントローラモジュールを交換してください。
2	8	LCD の障害 (電源レール障害の EC 検出)	システム ボードを取り付けます。
3	1	CMOS バッテリーの障害です	CMOS バッテリー接続をリセットします。問題が解決しない場合は、RTC バッテリーを交換します。
3	2	PCI またはビデオ カード/チップの障害です	システム ボードを取り付けます。
3	3	BIOS のリカバリー イメージが見つかりません	BIOS の最新バージョンをフラッシュします。問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	4	検出された BIOS のリカバリー イメージは無効です	BIOS の最新バージョンをフラッシュします。問題が解決しない場合は、システム ボードを交換します。
3	5	母線の障害です	システム ボードを取り付けます。
3	6	SBIOS によってフラッシュの破損が検出されました。	システム ボードを取り付けます。
3	7	ME が HECI メッセージへの返信を待機している間にタイムアウトしました。	システム ボードを取り付けます。

カメラステータスライト : カメラが使用されているかどうかを示します。

- ソリッド ホワイト : カメラが使用中です。
- 消灯 — カメラは使用されていません。

キャップスロックステータスライト : キャップスロックが有効か、それとも無効かを示します。

- ソリッド ホワイト : キャップスロックが有効です。
- 消灯 — キャップスロックが無効です。

オペレーティング システムのリカバリ

PC で何度か試行してもオペレーティング システムが起動されない場合、Dell SupportAssist の OS のリカバリーが自動的に起動します。

Dell SupportAssist OS Recovery はスタンドアロン ツールで、Windows オペレーティング システムがインストールされている Dell の PC すべてにプレインストールされています。PC でオペレーティング システムが起動される前に発生する問題を診断してトラブルシューティングするツールで構成されています。ハードウェアの問題の診断、PC の修復、ファイルのバックアップ、PC の出荷時状態への復元を行うことができます。

ソフトウェアやハードウェアの障害が原因でプライマリ オペレーティング システムを起動できない場合、Dell サポート用 Web サイトからダウンロードし、PC をトラブルシューティングして修正できます。

Dell SupportAssist OS Recovery の詳細については、www.dell.com/serviceabilitytools にある『Dell SupportAssist OS Recovery ユーザーズ ガイド』を参照してください。[SupportAssist]、[SupportAssist OS Recovery] の順にクリックします。

リアルタイム クロック (RTC リセット)

リアルタイム クロック (RTC) リセット機能を使用すると、ユーザーやサービス技術者は、Dell 製システムを No POST/No Power/No Boot 状態からリカバリーできます。これらのモデルでは、レガシー ジャンパーを有効にした RTC リセットは廃止されました。

システムの電源がオフになっていて AC 電源に接続されている状態で、RTC のリセットを開始します。電源ボタンを 25 秒間押し続けます。電源ボタンを放すと、システムの RTC リセットが実行されます。


Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート

手順

1. [Windows での BIOS のアップデート] にある手順 1~6 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。
2. 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、www.dell.com/support のナレッジ ベース リソースで検索してください。
3. BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
4. 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピューターに接続します。
5. コンピューターを再起動し、**F12** を押します。
6. **ワン タイム ブート メニュー** から USB ドライブを選択します。
7. BIOS セットアップ プログラムのファイル名を入力し、**Enter** を押します。**BIOS アップデート ユーティリティ**が表示されます。
8. 画面の指示に従って BIOS のアップデートを完了します。

Windows での BIOS のアップデート

手順

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. [製品名] をクリックします。[検索サポート] ボックスでお使いのコンピューターのサービス タグを入力し、[検索] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、SupportAssist 機能を使用して、お使いのコンピューターを自動で確認してください。製品 ID を使用するか、お使いのコンピューターのモデルを手動で参照することもできます。
3. [Drivers & Downloads] (ドライバおよびダウンロード) をクリックします。[ドライバーの検索] を展開します。
4. お使いのコンピューターにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
5. [カテゴリ] ドロップダウン リストで [BIOS] を選択します。
6. 最新の BIOS バージョンを選択して [ダウンロード] をクリックし、お使いのコンピューター用の BIOS ファイルをダウンロードします。
7. ダウンロードが完了したら、BIOS アップデート ファイルを保存したフォルダーを参照します。
8. BIOS アップデート ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。
システム BIOS のアップデート方法の詳細については、www.dell.com/support のナレッジ ベース リソースで検索してください。


バックアップ メディアとリカバリー オプション

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、回復ドライブを作成することが推奨されています。デルでは、Dell PC の Windows オペレーティング システムをリカバリするために、複数のオプションを用意しています。詳細に関しては「[デルの Windows バックアップ メディアおよびリカバリ オプション](#)」を参照してください。

Wi-Fi パワー サイクル

このタスクについて

お使いのコンピューターが Wi-Fi の接続性の問題によりインターネットに接続できない場合、Wi-Fi の電源の入れ直しが有効な手段となる場合があります。以下は、Wi-Fi の電源の入れ直し手順です。

 **メモ:** 一部の ISP（インターネット サービス プロバイダー）は、モデム/ルーター コンボ デバイスを提供しています。

手順

1. コンピューターの電源を切ります。
2. モデムの電源を切ります。
3. ワイヤレス ルーターの電源を切ります。
4. 30 秒待ちます。
5. ワイヤレス ルーターの電源を入れます。
6. モデムの電源を入れます。
7. コンピューターの電源を入れます。

待機電力の放出

このタスクについて

待機電力とは、コンピューターの電源をオフにしてバッテリーを取り外した後もコンピューターに残っている余分な静電気のことを指します。次の手順は、待機電力の放出方法を説明したものです。

手順


1. コンピューターの電源を切ります。
2. 電源アダプタをコンピューターから外します。
3. 電源ボタンを 15 秒間長押しして、待機電力を逃がします。
4. 電源アダプタをコンピューターに接続します。
5. コンピューターの電源を入れます。

トピック：

- [Dell へのお問い合わせ](#)

Dell へのお問い合わせ

前提条件

 **メモ:** インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

このタスクについて

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

手順

1. [Dell.com/support] にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。